

平成 19 年度「食事バランスガイド」等の普及状況調査 キャンペーン調査結果の概要

調査概要

1 全国普及状況調査 調査結果では「全国調査」と記載している

(1) 調査目的

本調査は、昨年度に引き続き、全国における「食生活指針」、「食事バランスガイド」の認知度と実践度を「食事バランスガイド」キャンペーン（イベント、媒体物配布等）を実施する前・後で実施し、認知度、参考度の変化等を把握し、今後の「食事バランスガイド」普及の施策展開のための基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

全国に居住する 15 歳～60 歳代の男女

(3) 抽出方法

モニター（楽天リサーチモニター）から国勢調査の地域別・年代別人口の構成比に沿って抽出

(4) 調査方法

インターネットによる WEB 調査

(5) 調査期間

第 1 回：平成 19 年 6 月

第 2 回：平成 20 年 2 月

(6) 回収数

第 1 回：2,102 件

第 2 回：2,102 件

(7) 調査項目

第 1 回

- ・食生活指針について
- ・「食事バランスガイド」について
- ・食生活の状況について
- ・食と農の体験活動について

第 2 回

- ・食生活指針について
- ・「食事バランスガイド」について
- ・キャンペーンの評価について
- ・食生活の状況について
- ・食と農の体験活動について

本概要では、「食生活指針について」、「食事バランスガイドについて」を中心に、抜粋しています。

2 地域限定普及状況調査

調査結果では「地域限定調査」と記載している

(1) 調査目的

本事業のキャンペーン重点地区として選定されている4つの地域で全国調査同様の調査を実施し、全国との比較等を行う。それによりキャンペーンの効果を検討し、今後、地域特性を生かした「食事バランスガイド」普及の施策展開の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

埼玉県さいたま市、東京都世田谷区、大阪府高槻市、福岡県福岡市に居住する
15歳～60歳の男女

(3) 抽出方法

対象地域に居住するモニター（楽天リサーチモニター）から、国勢調査の地域別・年代別人口の構成比に沿って抽出

(4) 調査方法

インターネットによるWEB調査

(5) 調査期間

第1回：平成19年6月
第2回：平成20年2月

(6) 回収数及び集計対象数

第1回：さいたま市/421件、世田谷区/421件、高槻市/418件、福岡市/419件
第2回：さいたま市/415件、世田谷区/421件、高槻市/419件、福岡市/416件
なお、第2回の高槻市の回収結果は、第1回の結果と年代構成についての違いがみられたため、第1回と同様になるようウエイトバックを行い、分析した。

(7) 調査項目

第1回	第2回
・食生活指針について	・食生活指針について
・「食事バランスガイド」について	・「食事バランスガイド」について
・食生活の状況について	・平成19年度キャンペーンについて
・食と農の体験活動について	・食生活の状況について
	・食と農の体験活動について

本概要では、「食生活指針について」、「食事バランスガイドについて」を中心に、抜粋しています。

3 検定

調査結果の分析にあたっては、有意差の検定として、時系列比較を伴う複数項目の母比率の差検定を行いました。その結果、5%以内の危険率で有意差が認められた項目については、分析については「高い」「低い」等の表現としています。

調査結果

1 食生活指針について

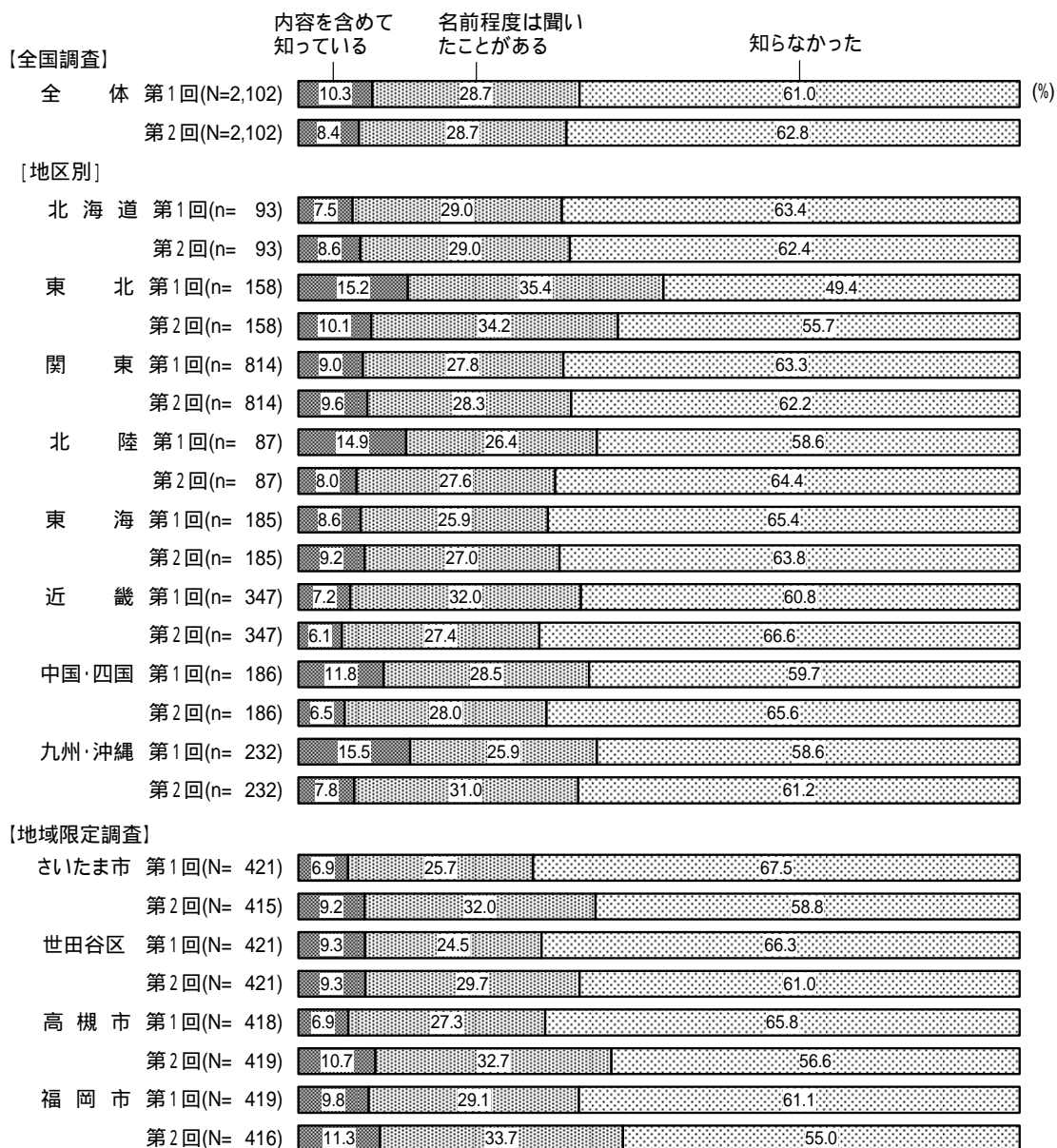
(1) 食生活指針の認知度

食生活指針の認知度は、第2回の全国調査の全体結果では、「内容を含めて知っている」が8.4%であり、「名前程度は聞いたことがある」が28.7%であり、合計した《知っている》は37.1%となっている。

地域限定調査では、第2回では、《知っている》が、さいたま市では41.2%、世田谷区では39.0%、高槻市では43.4%、福岡市では45.0%となっている(図表1-1)。

「地区別」では、農林水産省の地方農政局のブロック別の集計を行った。ただし、「九州・沖縄」については、沖縄県のサンプル数が少ないため、九州地区とまとめて集計した。

図表1-1 食生活指針の認知度(全国調査/全体・地区別、地域限定調査:第1回、第2回)



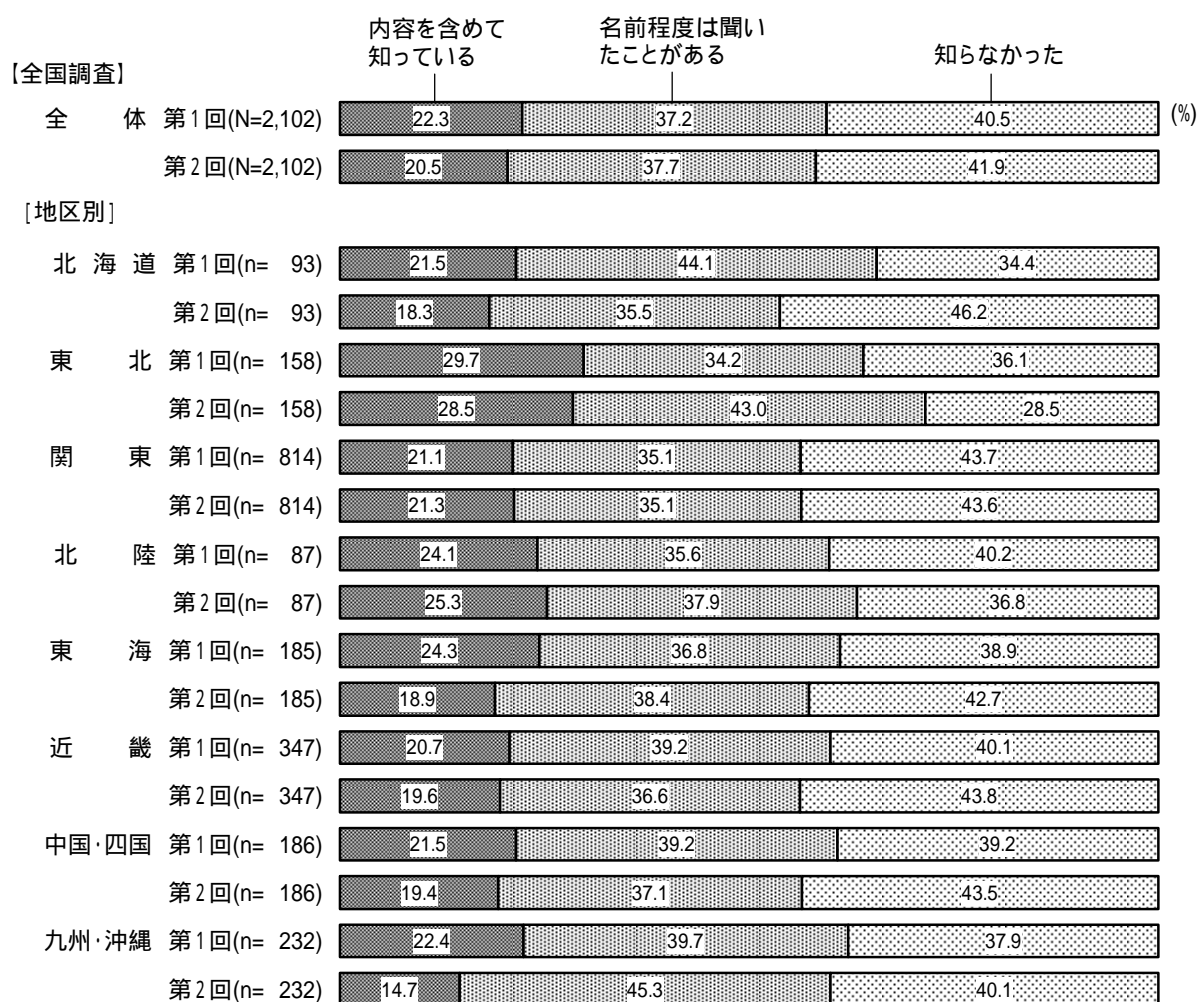
2 食事バランスガイドについて

(1) 食事バランスガイドの認知状況

食事バランスガイドの認知度

「食事バランスガイド」の認知度は、第2回の全国調査の全体結果では「内容を含めて知っている」が20.5%、「名前程度は聞いたことがある」が37.7%となっており、合計した《知っている》は58.2%となっている。第1回の結果と第2回の結果を比較すると、有意差はみられない(図表2-1-1-)。

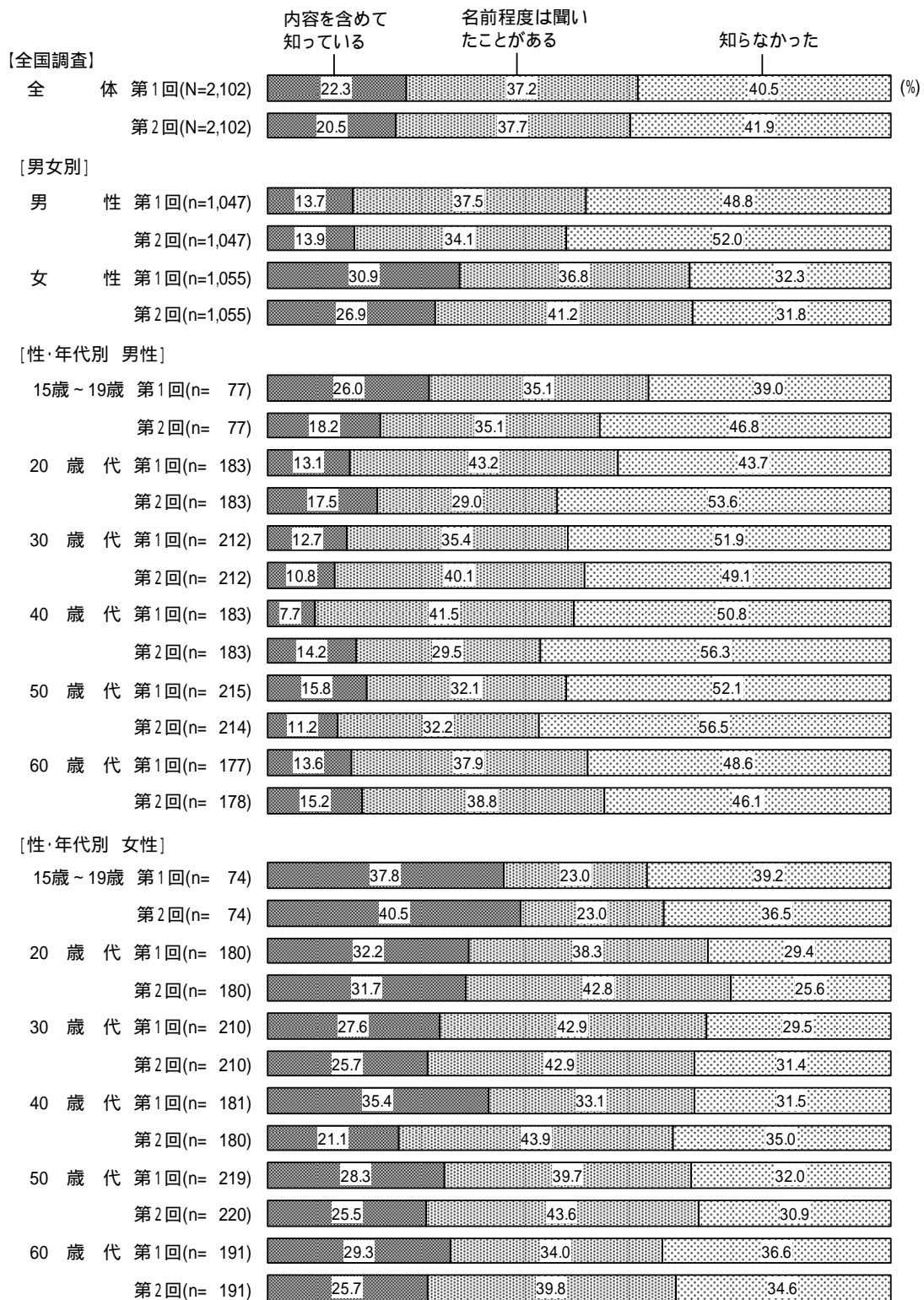
図表2-1-1- 食事バランスガイドの認知度(全国調査/全体・地区別：第1回、第2回)



全国調査を男女別にみると、第2回では「内容を含めて知っている」が、男性は13.9%、女性は26.9%であり、女性は男性を13.0ポイント上回っている。

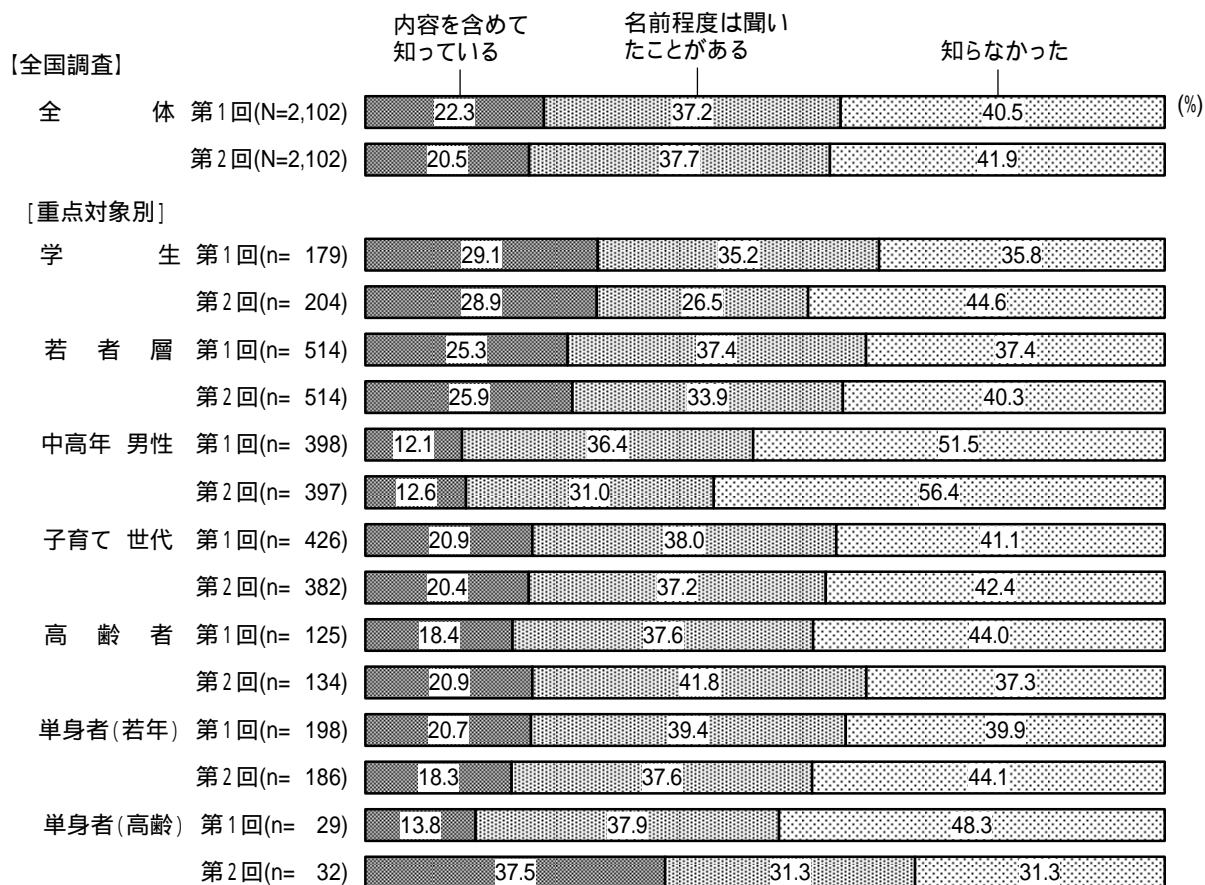
性・年代別にみると、第1回、第2回ともに、すべての年代において女性の「内容を含めて知っている」の割合が男性を上回っている（図表2-1-1-1）。

図表2-1-1-1 「食事バランスガイド」の認知度
（全国調査/全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回）



全国調査を重点対象別にみると、第1回、第2回ともに、学生は「内容を含めて知っている」が全体結果に比べて高くなっている。中高年男性は「知らなかった」が全体結果に比べて高くなっている（図表2-1-1-1）。

図表2-1-1-1 「食事バランスガイド」の認知度
（全国調査／全体・重点対象別：第1回、第2回）

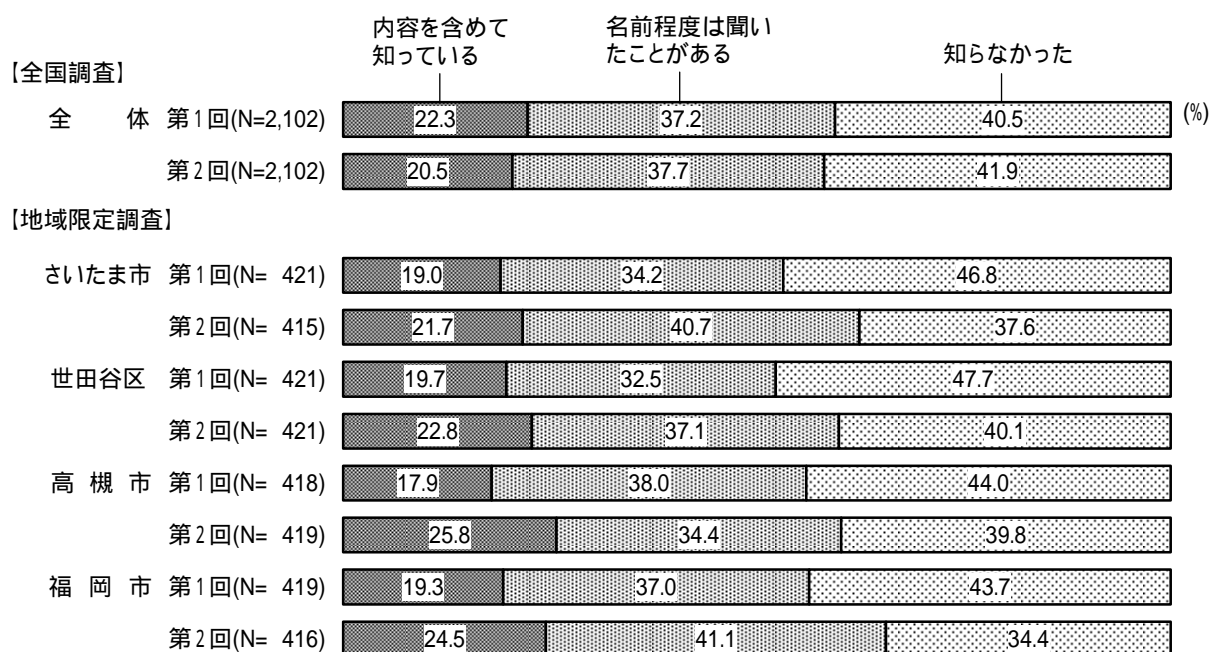


「重点対象別」は、以下の内容で集計している。

- ・学生：職業が学生の人
- ・若者層：年齢が15歳～29歳の人
- ・子育て世代：中学生以下のお子さんがおり、世帯構成が「親と子の2世代」か「親と子の3世代」の人
- ・中高年男性：男性の40歳代、50歳代の人
- ・高齢者：65歳以上の人
- ・単身者(若年)：年齢が15～39歳で、世帯構成が「ひとり暮らし」の人
- ・単身者(高齢)：年齢が60歳以上で、世帯構成が「ひとり暮らし」の人

地域限定調査では、第2回では、どの地域も「内容を含めて知っている」が第1回を上回っており、とくに高槻市では7.9ポイント高くなっている（図表2-1-1-1）。

図表2-1-1-1 「食事バランスガイド」の認知度
（全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回）



図表2-1-1-1 「食事バランスガイド」の「内容を含めて知っている」《知っている》の割合
（全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回）

「内容を含めて知っている」の割合

	第1回 (%)	第2回 (%)	差 (ポイント)
全国	22.3	20.5	-1.8
さいたま市	19.0	21.7	2.7
世田谷区	19.7	22.8	3.1
高槻市	17.9	25.8	7.9
福岡市	19.3	24.5	5.2

《知っている》の割合

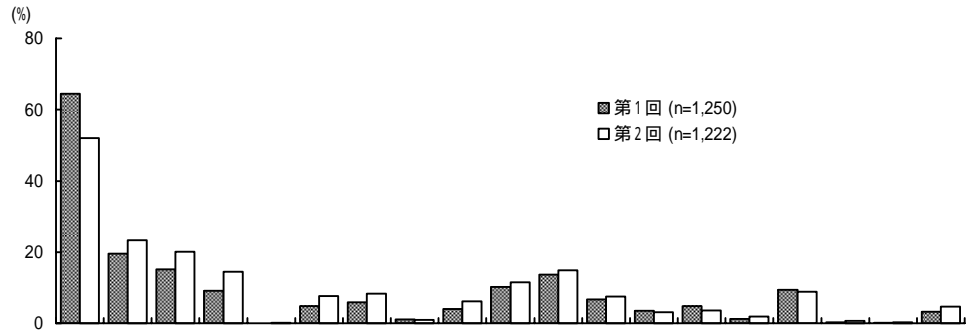
	第1回 (%)	第2回 (%)	差 (ポイント)
全国	59.5	58.2	-1.3
さいたま市	53.2	62.4	9.2
世田谷区	52.2	59.9	7.7
高槻市	55.9	60.2	4.3
福岡市	56.3	65.6	9.3

《知っている》は「内容を含めて知っている」と「名前程度は聞いたことがある」の合計値

食事バランスガイドの認知経路

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」、「名前程度は聞いたことがある」と回答した人に、「食事バランスガイド」の認知経路を聞いた。全国調査の全体結果では、第1回、第2回ともに、「テレビ」が最も高くなっているが、その割合は第1回から第2回にかけて12.4ポイント低くなっている。また、第1回から第2回にかけて「ポスター」が5.4ポイント、「パンフレット・リーフレット」が4.8ポイント、「新聞」が3.8ポイント、「スーパーなどのチラシ」が2.7ポイント、「店頭での表示(スーパーマーケット)」が2.4ポイント、「食品パッケージでの表示」が2.1ポイント高くなっている(図表2-1-2-)

図表2-1-2- 「食事バランスガイド」の認知経路
(全国調査/全体・地区別：第1回、第2回(複数回答))
《「食事バランスガイド」を知っている人》



全国調査	地区別		テレビ	新聞	パンフレット・リーフレット	ポスター	DVD	スーパーなどのチラシ	店頭での表示(スーパーマーケット)	店頭での表示(コンビニ)	食品パッケージでの表示	雑誌の記事(広告)	インターネット(ホームページなど)	行政機関の窓口	友人・知人から聞いて	各種シンポジウム・研修	イベント	学校	車両広告	CATV	その他	
			全体	第1回 (n=1,250)	64.4	19.5	15.2	9.1	0.0	4.9	5.9	1.0	4.0	10.2	13.7	6.6	3.5	4.9	1.2	9.4	0.2	0.1
	第2回 (n=1,222)	52.0	23.3	20.0	14.5	0.1	7.6	8.3	1.0	6.1	11.5	14.8	7.4	3.1	3.6	1.9	8.8	0.7	0.2	4.7		
地区別	北海道	第1回 (n=61)	67.2	18.0	19.7	8.2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	14.8	6.6	3.3	4.9	3.3	1.6	4.9	0.0	0.0	0.0	3.3
		第2回 (n=50)	58.0	24.0	16.0	12.0	0.0	2.0	6.0	2.0	6.0	6.0	18.0	6.0	2.0	2.0	8.0	10.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	東北	第1回 (n=101)	71.3	23.8	22.8	13.9	0.0	5.9	5.9	3.0	5.9	17.8	16.8	5.9	5.0	5.9	1.0	11.9	0.0	0.0	0.0	2.0
		第2回 (n=113)	59.3	31.0	29.2	17.7	0.0	5.3	9.7	0.0	6.2	11.5	12.4	10.6	2.7	4.4	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	2.7
	関東	第1回 (n=458)	62.9	19.9	13.5	9.4	0.0	5.0	5.5	0.7	5.2	7.2	11.4	6.6	2.0	3.7	0.7	8.3	0.0	0.0	0.0	2.8
		第2回 (n=459)	52.3	22.4	19.6	14.6	0.2	8.3	7.8	1.3	6.3	14.2	14.2	5.9	3.3	3.5	2.0	7.0	1.5	0.7	0.7	5.9
	北陸	第1回 (n=52)	75.0	23.1	17.3	5.8	0.0	7.7	9.6	1.9	1.9	13.5	15.4	9.6	3.8	1.9	1.9	15.4	0.0	0.0	0.0	1.9
		第2回 (n=55)	47.3	25.5	18.2	18.2	0.0	10.9	20.0	1.8	10.9	10.9	18.2	9.1	1.8	5.5	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	5.5
	東海	第1回 (n=113)	59.3	16.8	14.2	7.1	0.0	6.2	5.3	1.8	2.7	10.6	15.0	6.2	5.3	4.4	1.8	11.5	0.0	0.9	0.0	6.2
		第2回 (n=106)	50.9	24.5	18.9	9.4	0.0	5.7	5.7	0.9	10.4	9.4	13.2	5.7	5.7	3.8	0.0	11.3	0.0	0.0	0.0	4.7
	近畿	第1回 (n=208)	61.5	22.1	14.4	9.6	0.0	5.3	7.7	1.0	3.4	9.1	13.5	6.7	3.4	6.3	1.0	6.3	1.4	0.0	0.0	4.3
		第2回 (n=195)	47.7	20.5	20.5	18.5	0.0	10.3	9.2	0.5	4.1	11.8	16.9	6.2	2.1	3.6	1.5	7.2	1.0	0.0	0.0	4.6
	中国・四国	第1回 (n=113)	70.8	14.2	15.0	7.1	0.0	3.5	8.0	0.0	5.3	12.4	15.0	5.3	5.3	7.1	1.8	8.8	0.0	0.0	0.0	2.7
		第2回 (n=105)	54.3	23.8	20.0	13.3	0.0	9.5	4.8	1.0	2.9	6.7	15.2	9.5	4.8	4.8	4.8	11.4	0.0	0.0	0.0	2.9
九州・沖縄	第1回 (n=144)	62.5	17.4	14.6	9.0	0.0	3.5	4.9	1.4	2.1	11.1	19.4	9.0	4.2	6.3	2.1	13.9	0.0	0.0	0.0	2.1	
	第2回 (n=139)	50.4	21.6	16.5	10.1	0.0	4.3	7.9	0.7	5.8	10.1	14.4	11.5	2.2	2.2	1.4	13.7	0.0	0.0	0.0	4.3	

全国調査を男女別にみると、第1回、第2回ともに男女とも「テレビ」が最も多くなっている。第2回では、男性は「ポスター」が6.5ポイント、「パンフレット・リーフレット」が5.0ポイント、「新聞」が4.4ポイント、第1回を上回っている。女性は「パンフレット・リーフレット」が4.8ポイント、「ポスター」が4.6ポイント、第1回を上回っている（図表2-1-2- ）。

図表2-1-2- 「食事バランスガイド」の認知経路
 (全国調査/全体・男女別・性年代別：第1回、第2回(複数回答))
 《「食事バランスガイド」を知っている人》

			テレビ	新聞	パンフレット・リーフレット	ポスター	DVD	スーパーなどのチラシ	店頭での表示(スーパーマーケット)	店頭での表示(コンビニ)	食品パッケージでの表示	雑誌の記事(広告)	インターネット(ホームページなど)	行政機関の窓口	友人・知人から聞いて	各種シンポジウム・研修	イベント	学校	車両広告	CATV	その他	
全	体	第1回 (n=1,250)	64.4	19.5	15.2	9.1	0.0	4.9	5.9	1.0	4.0	10.2	13.7	6.6	3.5	4.9	1.2	9.4	0.2	0.1	3.2	
		第2回 (n=1,222)	52.0	23.3	20.0	14.5	0.1	7.6	8.3	1.0	6.1	11.5	14.8	7.4	3.1	3.6	1.9	8.8	0.7	0.2	4.7	
男女別	男	第1回 (n= 536)	61.8	22.8	14.9	9.0	0.0	3.4	5.2	1.9	2.6	9.1	17.0	6.3	3.0	3.7	0.6	6.0	0.6	0.0	3.9	
	第2回 (n= 503)	49.5	27.2	19.9	15.5	0.2	5.0	7.2	0.8	4.0	11.5	16.3	8.5	3.2	2.6	1.4	8.2	1.2	0.4	5.4		
女	性	第1回 (n= 714)	66.4	17.1	15.4	9.2	0.0	6.0	6.4	0.4	5.0	11.1	11.2	6.9	3.9	5.7	1.7	11.9	0.0	0.1	2.7	
	第2回 (n= 719)	53.8	20.6	20.2	13.8	0.0	9.5	9.0	1.1	7.6	11.5	13.8	6.7	3.1	4.3	2.2	9.3	0.4	0.1	4.2		
性年代別	男性	15～19歳	第1回 (n= 47)	61.7	10.6	4.3	8.5	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	2.1	10.6	0.0	2.1	2.1	0.0	40.4	0.0	0.0	2.1
		第2回 (n= 41)	46.3	7.3	4.9	2.4	0.0	2.4	7.3	2.4	7.3	4.9	7.3	2.4	0.0	0.0	0.0	43.9	0.0	0.0	2.4	
		20歳代	第1回 (n= 103)	71.8	9.7	8.7	4.9	0.0	2.9	5.8	3.9	3.9	5.8	15.5	1.9	1.9	2.9	0.0	2.9	1.9	0.0	1.9
		第2回 (n= 85)	58.8	24.7	24.7	20.0	0.0	2.4	7.1	0.0	4.7	8.2	20.0	5.9	0.0	1.2	0.0	15.3	1.2	0.0	0.0	
		30歳代	第1回 (n= 102)	61.8	12.7	15.7	10.8	0.0	1.0	3.9	2.0	1.0	2.9	20.6	9.8	2.9	2.9	0.0	2.9	1.0	0.0	5.9
		第2回 (n= 108)	64.8	18.5	14.8	18.5	0.9	7.4	13.0	2.8	3.7	15.7	21.3	3.7	2.8	1.9	0.9	4.6	2.8	1.9	2.8	
	女性	40歳代	第1回 (n= 90)	60.0	17.8	10.0	5.6	0.0	7.8	4.4	2.2	4.4	12.2	13.3	10.0	1.1	4.4	1.1	4.4	0.0	0.0	7.8
		第2回 (n= 80)	47.5	20.0	17.5	23.8	0.0	5.0	6.3	0.0	1.3	12.5	12.5	8.8	5.0	2.5	3.8	2.5	0.0	0.0	10.0	
		50歳代	第1回 (n= 103)	69.9	35.9	19.4	13.6	0.0	1.9	3.9	0.0	1.0	15.5	13.6	4.9	5.8	3.9	1.9	1.0	0.0	0.0	2.9
		第2回 (n= 93)	43.0	33.3	25.8	11.8	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3	14.0	19.4	14.0	0.0	3.2	1.1	1.1	2.2	0.0	8.6	
		60歳代	第1回 (n= 91)	42.9	45.1	26.4	9.9	0.0	5.5	6.6	2.2	4.4	13.2	25.3	8.8	3.3	5.5	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2
		第2回 (n= 96)	33.3	47.9	24.0	10.4	0.0	6.3	4.2	0.0	4.2	9.4	11.5	13.5	9.4	5.2	2.1	2.1	0.0	0.0	7.3	
性年代別	女性	15～19歳	第1回 (n= 45)	60.0	0.0	8.9	11.1	0.0	4.4	2.2	0.0	15.6	2.2	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	42.2	0.0	0.0	6.7
		第2回 (n= 47)	53.2	6.4	4.3	12.8	0.0	8.5	8.5	0.0	12.8	2.1	14.9	0.0	4.3	2.1	0.0	29.8	2.1	0.0	4.3	
		20歳代	第1回 (n= 127)	70.9	6.3	11.8	7.9	0.0	6.3	4.7	0.0	3.9	7.1	11.8	1.6	6.3	2.4	1.6	16.5	0.0	0.0	3.1
		第2回 (n= 134)	57.5	11.2	17.2	18.7	0.0	10.4	12.7	2.2	8.2	7.5	12.7	5.2	0.7	2.2	1.5	16.4	0.0	0.7	5.2	
		30歳代	第1回 (n= 148)	71.6	12.2	10.8	12.2	0.0	2.7	5.4	0.7	4.7	8.1	4.1	8.8	3.4	4.7	0.0	14.9	0.0	0.0	3.4
		第2回 (n= 144)	55.6	11.8	21.5	13.2	0.0	12.5	11.8	2.1	7.6	14.6	11.8	7.6	3.5	5.6	2.1	8.3	0.0	0.0	4.9	
	女性	40歳代	第1回 (n= 124)	66.1	16.1	17.7	10.5	0.0	9.7	10.5	1.6	4.8	17.7	19.4	8.9	2.4	8.1	3.2	11.3	0.0	0.0	2.4
		第2回 (n= 117)	53.8	26.5	22.2	12.0	0.0	8.5	5.1	0.0	6.0	13.7	8.5	5.1	0.9	2.6	2.6	10.3	0.0	0.0	3.4	
		50歳代	第1回 (n= 149)	67.1	20.8	17.4	3.4	0.0	4.7	6.0	0.0	2.0	12.8	11.4	8.7	4.0	8.1	1.3	4.0	0.0	0.0	0.7
		第2回 (n= 152)	53.3	29.6	21.7	13.2	0.0	9.9	10.5	0.7	5.9	11.2	16.4	6.6	2.6	4.6	1.3	3.3	1.3	0.0	4.6	
		60歳代	第1回 (n= 121)	57.0	37.2	22.3	12.4	0.0	8.3	7.4	0.0	6.6	13.2	12.4	7.4	5.0	7.4	3.3	2.5	0.0	0.8	2.5
		第2回 (n= 125)	48.8	29.6	24.0	12.0	0.0	5.6	4.0	0.8	8.8	14.4	18.4	11.2	7.2	7.2	4.8	1.6	0.0	0.0	2.4	

全国調査を重点対象別にみると、第2回が第1回を5.0ポイント以上上回っていたものは、若者層では「新聞」,「パンフレット・リーフレット」,「ポスター」,子育て世代では「パンフレット・リーフレット」,「ポスター」,「雑誌の記事・広告」,中高年男性では「パンフレット・リーフレット」,「ポスター」,単身者(若者)では「新聞」,「パンフレット・リーフレット」,「ポスター」,「スーパーなどのチラシ」,「店頭での表示(スーパーマーケット)」などである(図表2-1-2-)

図表2-1-2- 「食事バランスガイド」の認知経路
(全国調査/全体・重点対象別：第1回、第2回(複数回答))
《「食事バランスガイド」を知っている人》

			テレビ	新聞	パンフレット・リーフレット	ポスター	DVD	スーパーなどのチラシ	店頭での表示(スーパーマーケット)	店頭での表示(コンビニ)	食品パッケージでの表示	雑誌の記事(広告)	インターネット(ホームページなど)	行政機関の窓口	友人・知人から聞いて	各種シンポジウム・研修	イベント	学校	車両広告	CATV	その他
全国調査	全体	第1回 (n=1,250)	64.4	19.5	15.2	9.1	0.0	4.9	5.9	1.0	4.0	10.2	13.7	6.6	3.5	4.9	1.2	9.4	0.2	0.1	3.2
		第2回 (n=1,222)	52.0	23.3	20.0	14.5	0.1	7.6	8.3	1.0	6.1	11.5	14.8	7.4	3.1	3.6	1.9	8.8	0.7	0.2	4.7
	学生	第1回 (n= 115)	60.9	5.2	7.0	8.7	0.0	0.0	5.2	0.9	4.3	1.7	11.3	1.7	1.7	0.9	0.0	37.4	0.9	0.0	3.5
		第2回 (n= 113)	53.1	9.7	6.2	11.5	0.0	3.5	7.1	0.9	8.0	4.4	12.4	0.9	0.9	0.9	0.0	35.4	0.9	0.0	1.8
	若者層	第1回 (n= 322)	68.3	7.1	9.3	7.5	0.0	4.0	5.3	1.2	5.0	5.3	12.1	1.6	3.4	2.2	0.6	19.3	0.6	0.0	3.1
		第2回 (n= 307)	55.7	13.7	15.6	16.0	0.0	6.8	9.8	1.3	7.8	6.5	14.3	4.2	1.0	1.6	0.7	21.8	0.7	0.3	3.3
	子育て世代	第1回 (n= 251)	62.9	16.3	16.3	10.4	0.0	4.8	5.6	0.8	4.4	9.6	10.8	8.0	2.0	3.6	0.8	11.6	0.0	0.0	6.0
		第2回 (n= 220)	52.3	19.1	21.4	15.5	0.5	8.2	7.3	0.9	7.3	15.0	10.9	7.7	2.7	3.6	2.7	12.3	0.5	0.5	5.9
	中高年男性	第1回 (n= 193)	65.3	27.5	15.0	9.8	0.0	4.7	4.1	1.0	2.6	14.0	13.5	7.3	3.6	4.1	1.6	2.6	0.0	0.0	5.2
		第2回 (n= 173)	45.1	27.2	22.0	17.3	0.0	4.6	5.2	0.0	2.9	13.3	16.2	11.6	2.3	2.9	2.3	1.7	1.2	0.0	9.2
	高齢者	第1回 (n= 70)	45.7	45.7	20.0	11.4	0.0	7.1	8.6	1.4	7.1	14.3	21.4	14.3	5.7	8.6	0.0	1.4	0.0	0.0	2.9
		第2回 (n= 84)	41.7	42.9	21.4	9.5	0.0	8.3	1.2	0.0	4.8	16.7	16.7	13.1	6.0	6.0	6.0	1.2	0.0	0.0	4.8
	単身者(若年)	第1回 (n= 119)	63.9	7.6	8.4	8.4	0.0	1.7	2.5	3.4	4.2	5.9	16.8	7.6	2.5	2.5	0.0	16.8	0.8	0.0	3.4
		第2回 (n= 104)	53.8	15.4	20.2	22.1	0.0	12.5	9.6	1.9	7.7	10.6	19.2	4.8	0.0	1.0	1.0	13.5	1.0	0.0	4.8
	単身者(高齢)	第1回 (n= 15)	66.7	13.3	33.3	6.7	0.0	20.0	20.0	0.0	13.3	20.0	26.7	13.3	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		第2回 (n= 22)	13.6	22.7	22.7	18.2	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	22.7	36.4	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5

全国調査を「食事バランスガイド」の認知度別にみると、名前程度は聞いたことがある人は、第1回、第2回ともに「テレビ」のみ全体結果を上回っている。内容を含めて知っている人は、「パンフレット・リーフレット」をはじめとしたテレビ以外の媒体の多くで全体結果を上回っている（図表2-1-2- ）。

図表2-1-2- 「食事バランスガイド」の認知経路
 (全国調査/全体・「食事バランスガイド」の認知度別：第1回、第2回(複数回答))
 《「食事バランスガイド」を知っている人》

			テレビ	新聞	パンフレット・リーフレット	ポスター	DVD	スーパードラッグストアなどのチラシ	店頭での表示(スーパーマーケット)	店舗での表示(コンビニ)	食品パッケージでの表示	雑誌の記事(広告)	インターネット(ホームページなど)	行政機関の窓口	友人・知人から聞いて	各種シンポジウム・研修	イベント	学校	車両広告	CATV	その他	
全国調査	全体	第1回 (n=1,250)	64.4	19.5	15.2	9.1	0.0	4.9	5.9	1.0	4.0	10.2	13.7	6.6	3.5	4.9	1.2	9.4	0.2	0.1	3.2	
		第2回 (n=1,222)	52.0	23.3	20.0	14.5	0.1	7.6	8.3	1.0	6.1	11.5	14.8	7.4	3.1	3.6	1.9	8.8	0.7	0.2	4.7	
	「食事バランスガイド」の認知度別	内容を含めて知っている	第1回 (n= 469)	60.3	21.3	23.7	14.3	0.0	7.9	9.4	1.9	6.4	14.1	19.2	11.1	3.8	10.4	2.3	14.9	0.0	0.2	3.6
			第2回 (n= 430)	47.9	27.2	28.6	18.8	0.2	10.2	9.5	1.9	8.8	14.9	21.6	11.4	4.0	7.7	2.8	12.3	1.2	0.7	6.3
		名前程度は聞いたことがある	第1回 (n= 781)	66.8	18.4	10.1	6.0	0.0	3.1	3.8	0.5	2.6	7.9	10.4	4.0	3.3	1.5	0.5	6.0	0.4	0.0	2.9
			第2回 (n= 792)	54.3	21.2	15.4	12.1	0.0	6.2	7.6	0.5	4.7	9.7	11.1	5.3	2.7	1.4	1.4	6.9	0.5	0.0	3.8

地域限定調査では、第1回から第2回にかけて、さいたま市では、「行政機関の窓口」が7.3ポイント、「学校」が4.8ポイント、「イベント」が2.3ポイント高くなっている。

世田谷区では「ポスター」が8.5ポイント、「新聞」が8.2ポイント、「行政機関」が6.0ポイント、「車両広告」が3.1ポイント高くなっている。

高槻市では「ポスター」が12.3ポイント、「新聞」が11.5ポイント、「車両広告」が6.3ポイント高くなっている。

福岡市では「ポスター」が10.0ポイント、「新聞」が9.0ポイント、「店頭での表示(スーパーマーケット)」が4.1ポイント、「車両広告」が3.7ポイント高くなっている(図表2-1-2-)。

図表2-1-2- 「食事バランスガイド」の認知経路
(全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回(複数回答))
《「食事バランスガイド」を知っている人》

			テレビ	新聞	パンフレット・リーフ	ポスター	DVD	スーパーなどのチラシ	店頭での表示(スーパーマーケット)	店頭での表示(コンビニ)	食品パッケージでの表示	雑誌の記事(広告)	インターネット(ホームページなど)	行政機関の窓口	友人・知人から聞いて	各種シンポジウム・研修	イベント	学校	車両広告	CATV	その他
全国調査	全体	第1回 (n=1,250)	64.4	19.5	15.2	9.1	0.0	4.9	5.9	1.0	4.0	10.2	13.7	6.6	3.5	4.9	1.2	9.4	0.2	0.1	3.2
		第2回 (n=1,222)	52.0	23.3	20.0	14.5	0.1	7.6	8.3	1.0	6.1	11.5	14.8	7.4	3.1	3.6	1.9	8.8	0.7	0.2	4.7
地域限定調査	さいたま市	第1回 (n=224)	62.9	19.6	16.1	10.3	0.0	8.0	6.7	0.9	4.9	7.6	12.9	0.4	1.8	4.5	0.0	4.9	2.2	0.9	3.1
		第2回 (n=259)	52.1	23.6	17.4	15.8	0.0	4.2	8.1	0.4	5.0	11.2	15.1	7.7	1.5	2.7	2.3	9.7	2.7	0.0	4.6
	世田谷区	第1回 (n=220)	59.1	16.8	17.3	10.9	0.0	5.9	9.5	2.7	8.2	13.6	14.1	2.7	5.9	3.6	3.2	5.0	0.9	0.0	3.2
		第2回 (n=252)	48.0	25.0	17.5	19.4	0.0	7.1	11.9	1.6	5.6	13.5	9.9	8.7	2.8	2.8	2.8	6.3	4.0	0.4	3.6
	高槻市	第1回 (n=234)	65.4	16.7	10.7	6.4	0.0	6.8	8.5	0.4	3.4	7.3	9.0	6.0	2.6	1.7	0.4	9.0	0.4	0.0	3.8
		第2回 (n=252)	55.6	28.2	14.3	18.7	0.0	6.3	11.9	1.6	5.2	9.5	13.9	7.5	3.2	3.2	2.0	12.7	6.7	0.0	2.8
	福岡市	第1回 (n=236)	65.3	14.8	12.7	7.2	0.4	3.0	2.1	0.8	6.4	10.6	9.3	5.9	4.7	5.1	1.7	11.0	0.0	0.4	3.4
		第2回 (n=273)	59.0	23.8	15.8	17.2	0.4	2.9	6.2	0.4	2.9	7.3	13.9	5.1	1.1	2.2	1.8	11.7	3.7	0.0	4.0

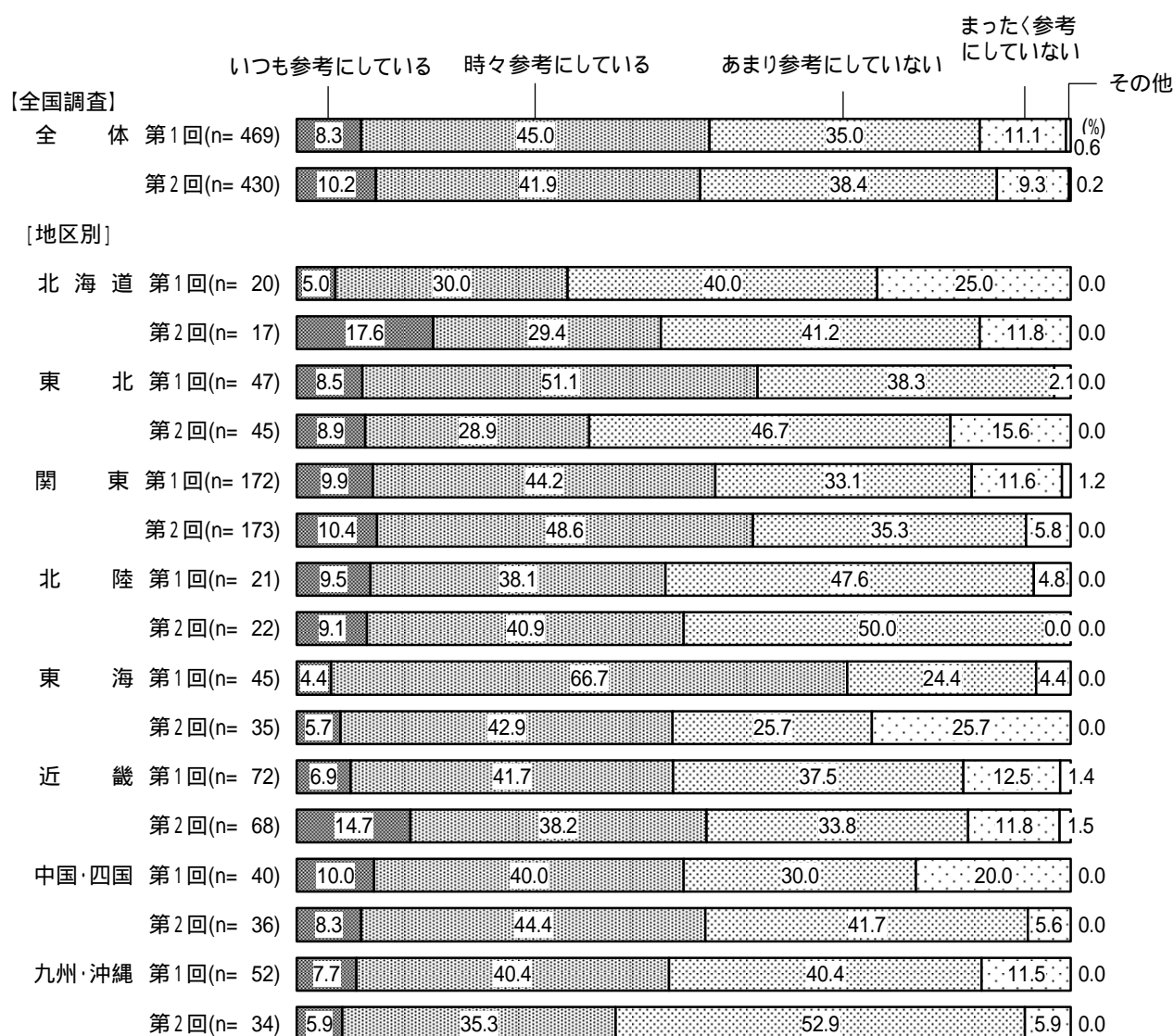
食事バランスガイドの参考度

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」と回答した人に、「食事バランスガイド」の参考度を聞いた。第2回の全国調査の全体結果では「いつも参考にしている」が10.2%、「時々参考にしている」が41.9%となっており、合計した《参考にしている》は51.1%となっている（図表2-1-3- ）。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の参考度

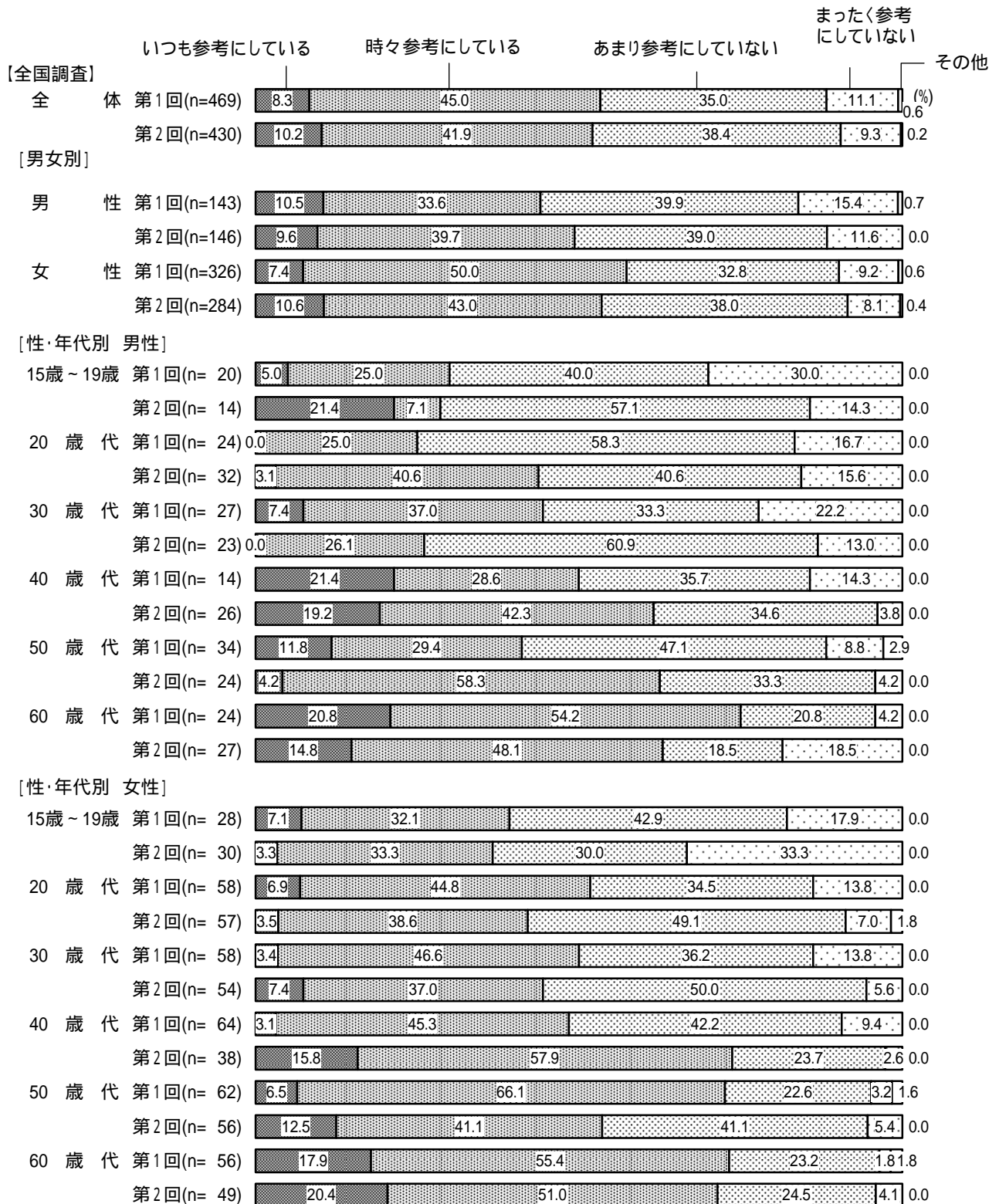
（全国調査/全体・地区別：第1回、第2回）

<「食事バランスガイド」を内容を含めて知っている人>



全国調査を男女別にみると、第2回では、女性は《参考にしている(53.6%)》が男性(49.3%)を4.3ポイント上回っている(図表2-1-3-)。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の参考度
(全国調査/全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回)
<「食事バランスガイド」を内容を含めて知っている人>

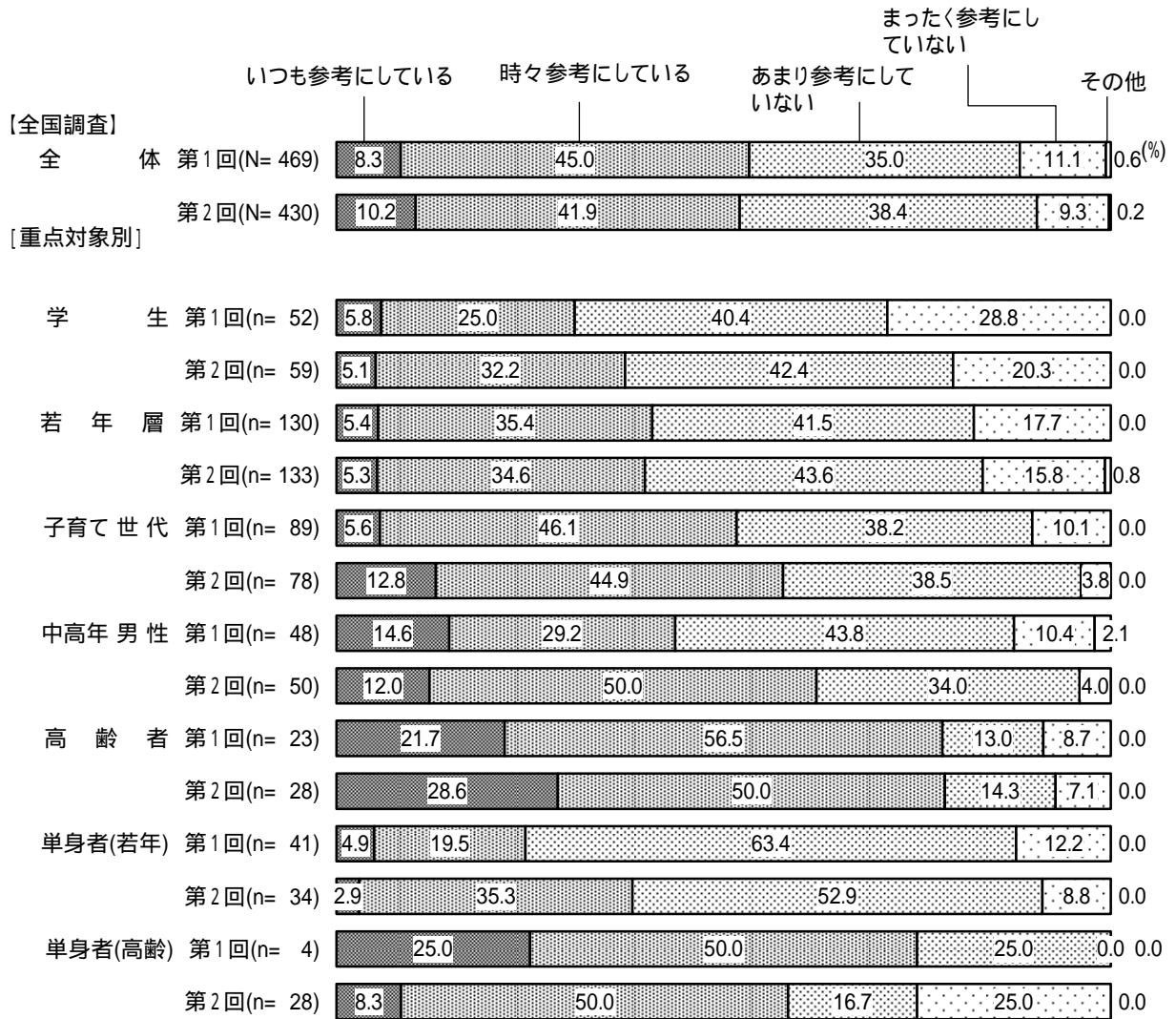


全国調査を重点対象別にみると、高齢者は第1回、第2回ともに「いつも参考にしている」が2割を超え、全体結果に比べて高くなっている。(図表2-1-3-)。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の参考度

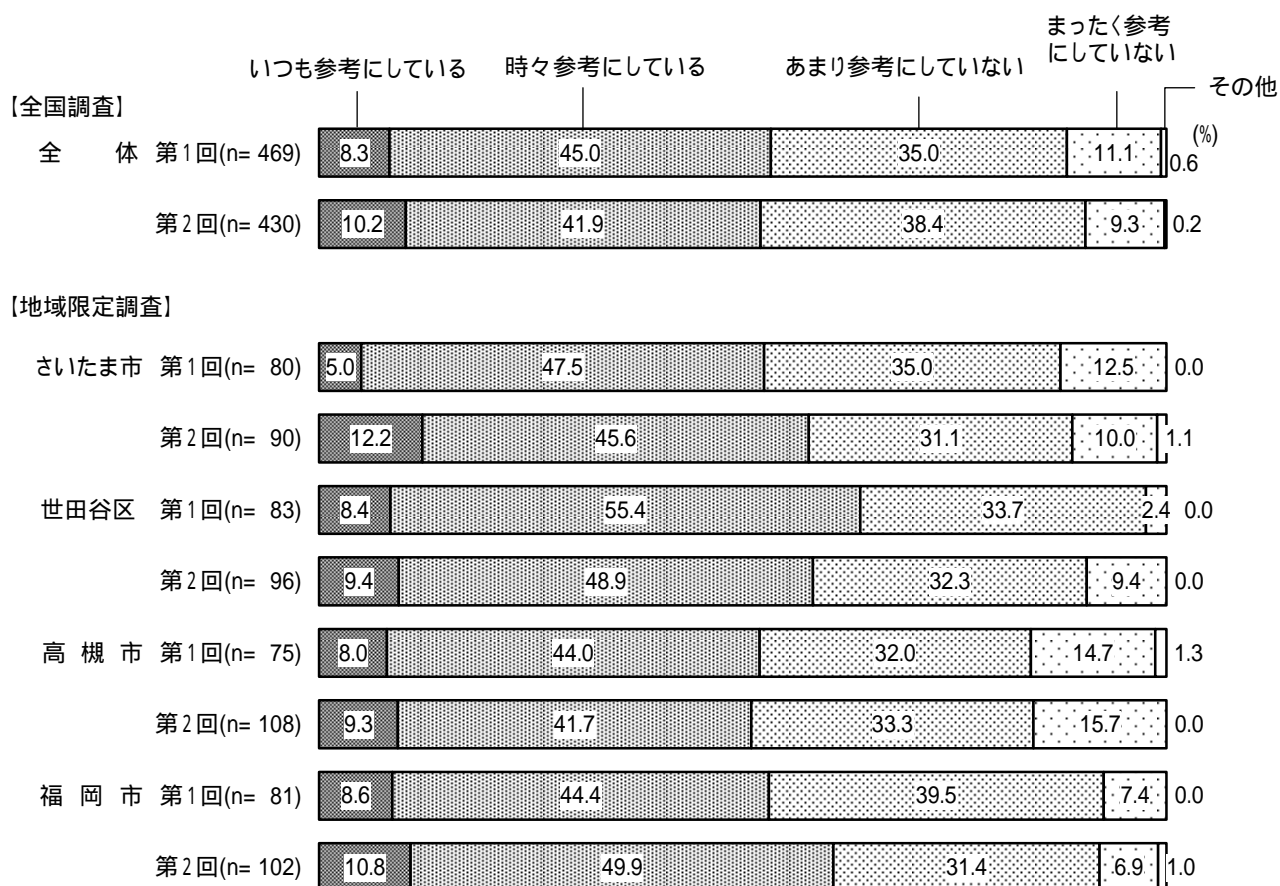
(全国調査/全体・重点対象別：第1回、第2回)

<「食事バランスガイド」を内容を含めて知っている人>



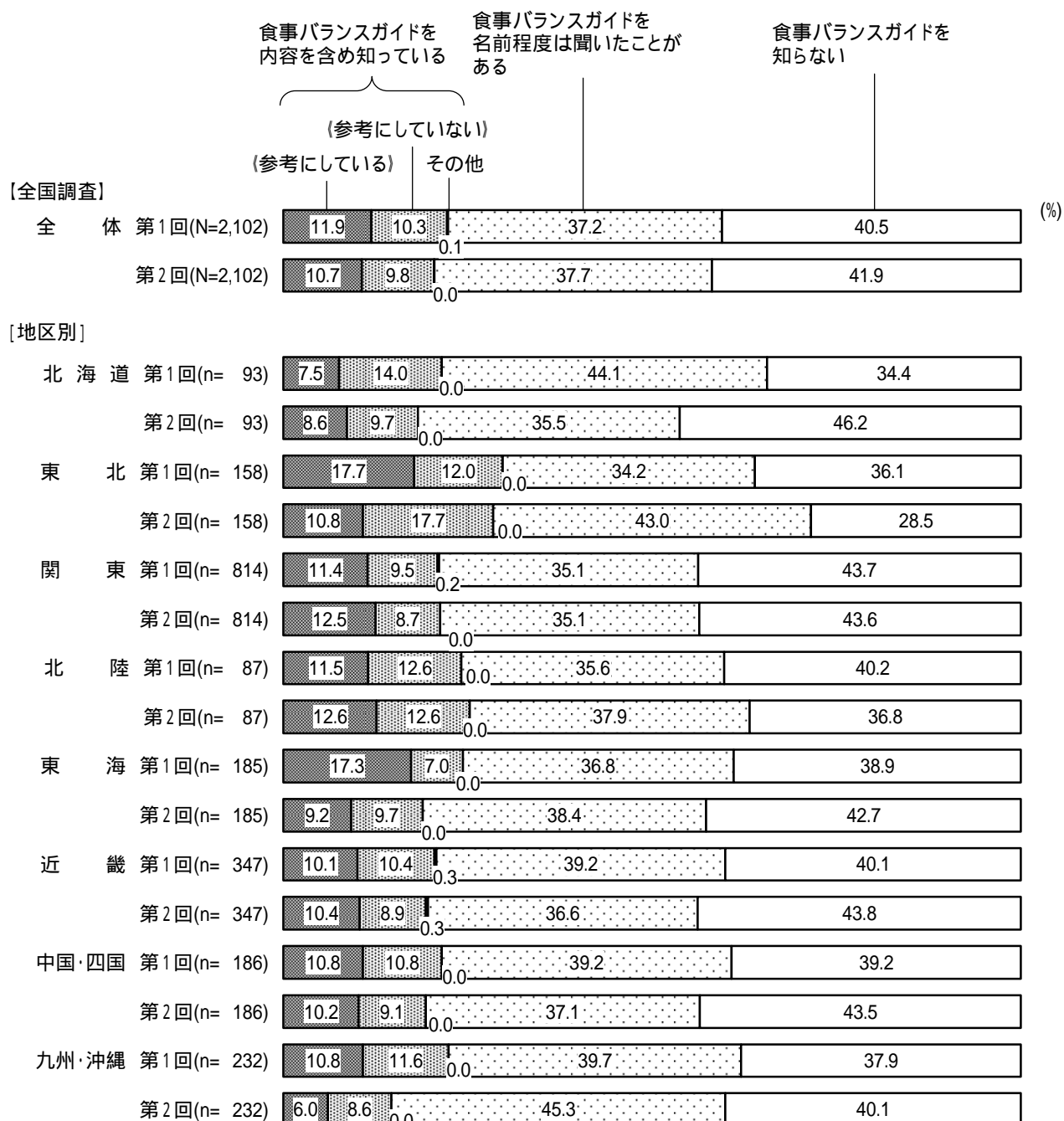
地域限定調査では、第2回では《参考にしている》がさいたま市では57.8%、世田谷区では58.3%、高槻市では51.0%、福岡市では60.7%となっている(図表2 - 1 - 3 -)

図表2 - 1 - 3 - 「食事バランスガイド」の参考度
 (全国調査 / 全体、地域限定調査 : 第1回、第2回)
 < 「食事バランスガイド」を内容を含めて知っている人 >



なお、調査対象全体の人数に対する《参考にしている》と回答した人の割合は、第2回の全国調査の全体結果では10.7%である。第1回の結果と第2回の結果を比較すると、有意差はみられない(図表2-1-3-)。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の認知度、参考度
(全国調査/全体・地区別：第1回、第2回)



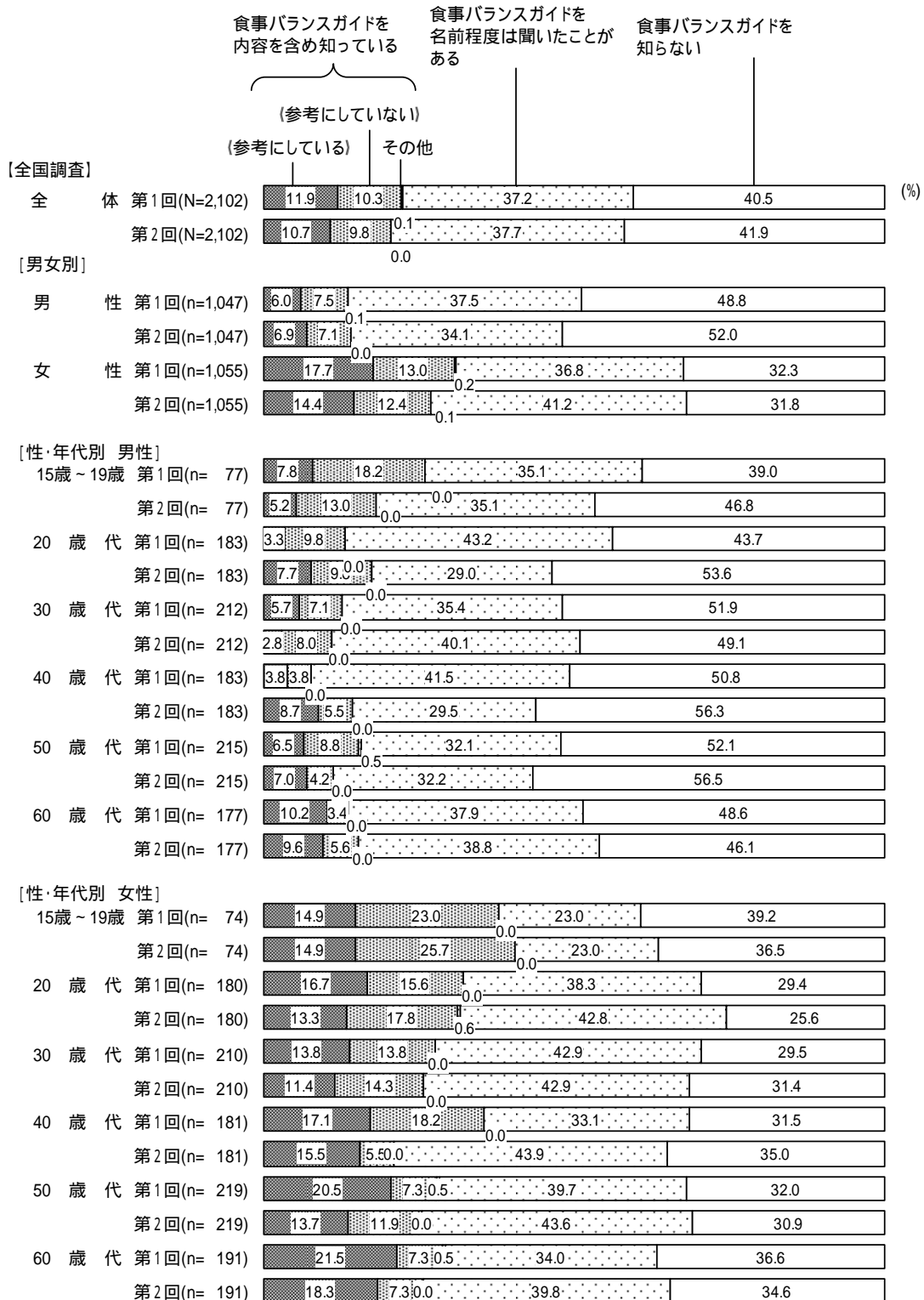
《参考にしている》は「いつも参考にしてている」と「時々参考にしてている」の合計値

《参考にしていない》は「あまり参考にしていない」と「まったく参考にしていない」の合計値

全国調査を男女別にみると、調査対象全体の人数に対する《参考にしている》と回答した人の割合は、第2回では、男性は6.9%、女性では14.4%であり、女性は男性を7.5ポイント上回っている。

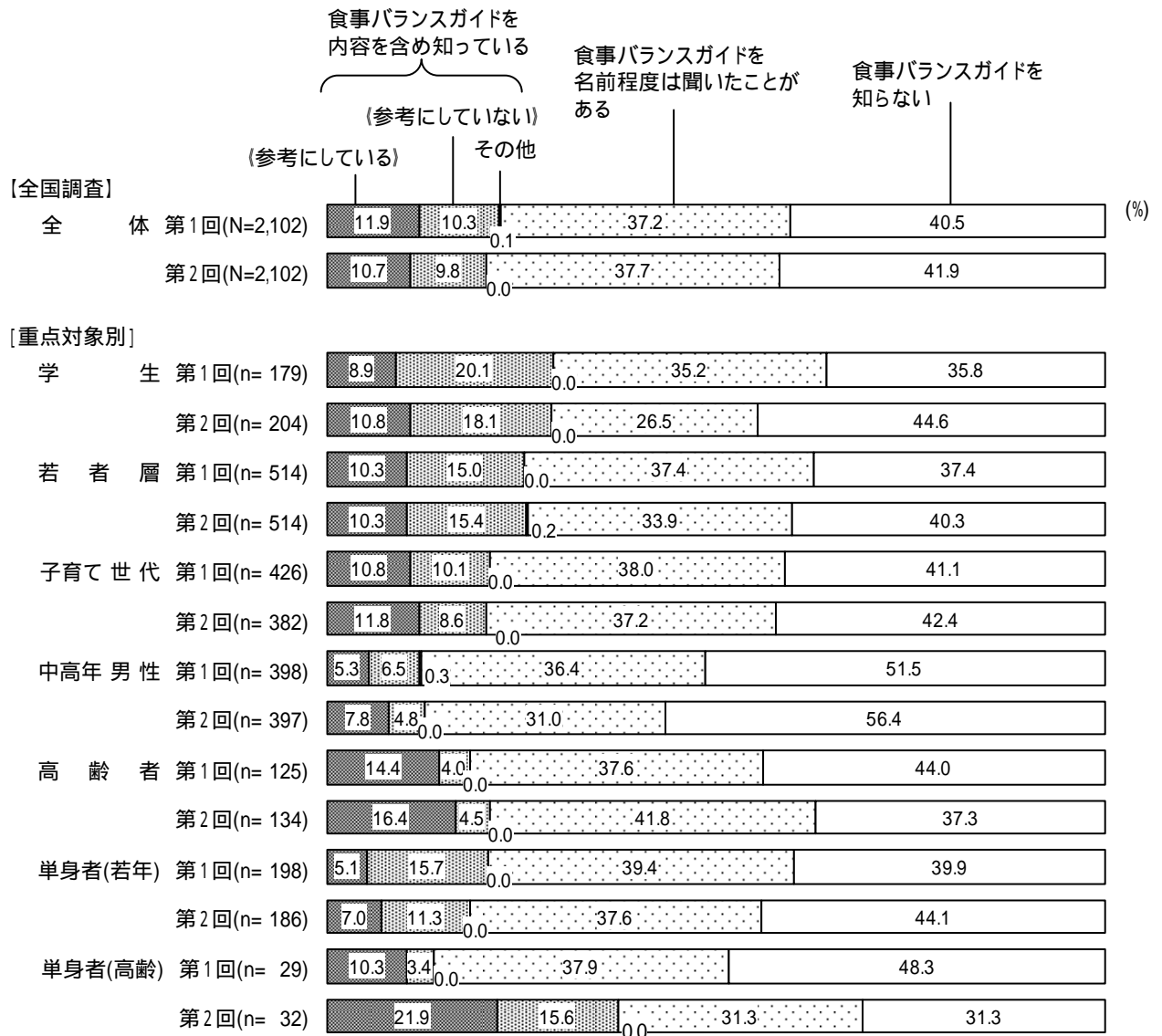
性・年代別にみると、すべての年代において女性の《参考にしている》の割合が男性を上回っている（図表2-1-3- ）。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の認知度、参考度
（全国調査 / 全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回）



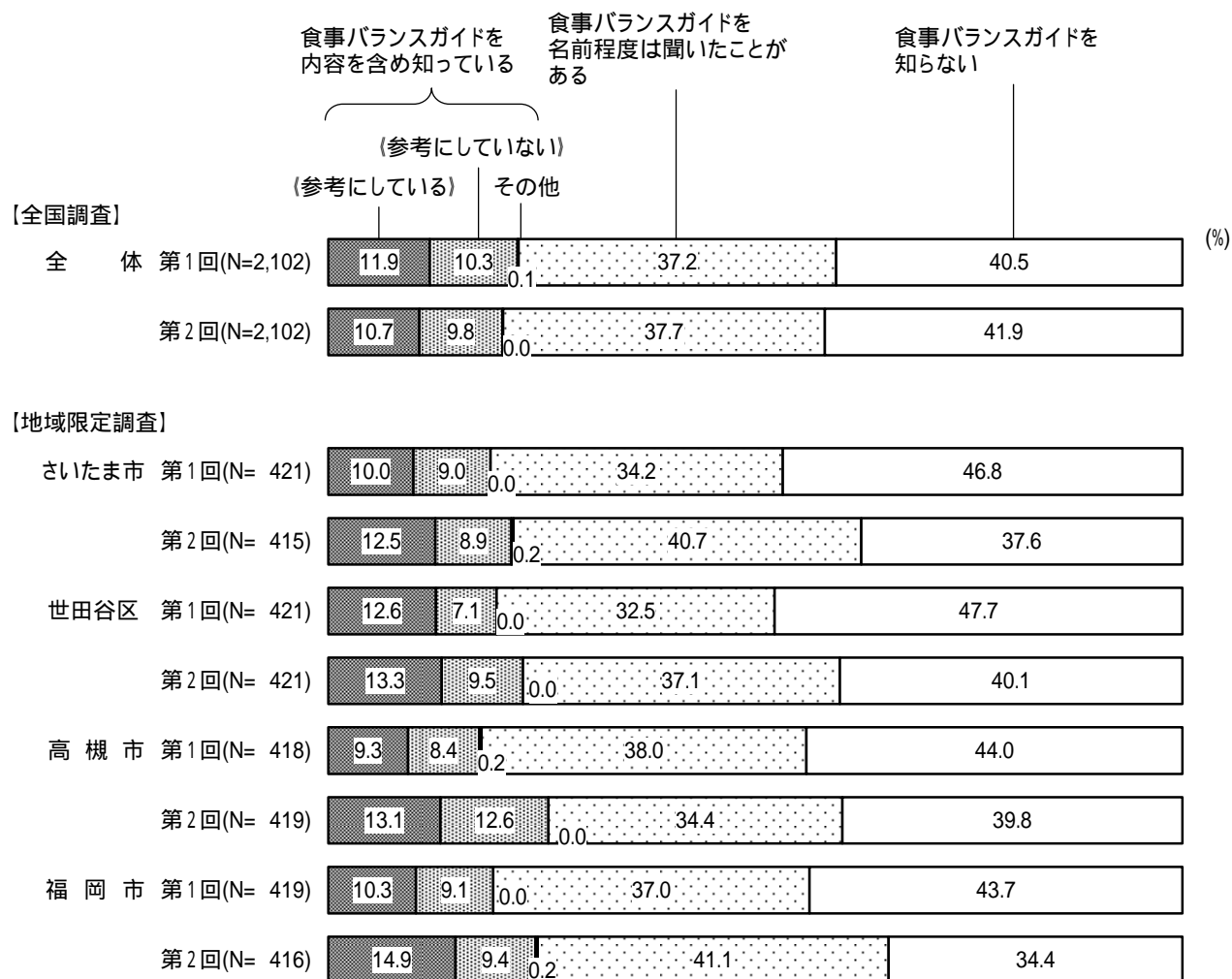
全国調査を重点対象別にみると、調査対象全体の人数に対する《参考にしている》と回答した人の割合は、第2回では、若者層をのぞく重点対象では第1回を上回っている（図表2-1-3- ）。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の認知度、参考度
（全国調査／全体・重点対象別：第1回、第2回）



地域限定調査を重点対象別にみると、調査対象全体の人数に対する《参考にしている》と回答した人の割合は、第2回では、どの地域も《参考にしている》が第1回を上回っており、とくに福岡市では4.6ポイント高くなっている（図表2-1-3- ）。

図表2-1-3- 「食事バランスガイド」の認知度、参考度
（全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回）

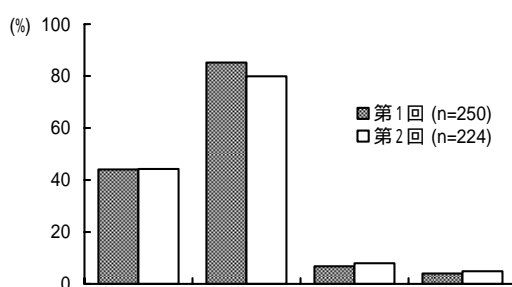


食事バランスガイドを参考にしている理由

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」人で、「いつも参考にしている」、「時々参考にしている」と回答した人に、「食事バランスガイド」を参考にしている理由を聞いた。全国調査の全体結果では、第1回、第2回ともに「病気等、健康上の理由から」が8割弱から8割台であり最も多く、「体型が気になるから」が4割台で続いている（図表2-1-4- ）。

図表2-1-4- 「食事バランスガイド」を参考にしている理由
（全国調査／全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回（複数回答））

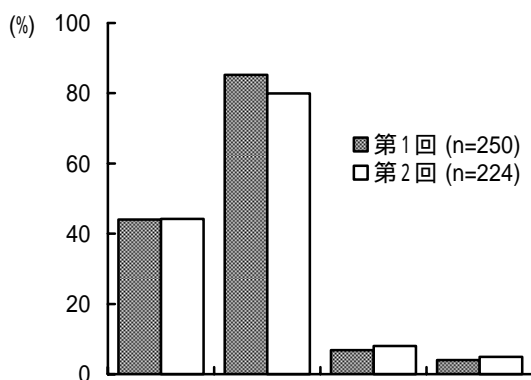
《「食事バランスガイド」を知っていて、参考にしている人》



			体型が気になるから	病気等、健康上の理由	なんとなく	その他		
全国調査	全	体	第1回 (n=250)	44.0	85.2	6.8	4.0	
		体	第2回 (n=224)	44.2	79.9	8.0	4.9	
	男女別	男	性	第1回 (n= 63)	39.7	87.3	7.9	1.6
			性	第2回 (n= 72)	54.2	72.2	8.3	1.4
		女	性	第1回 (n=187)	45.5	84.5	6.4	4.8
			性	第2回 (n=152)	39.5	83.6	7.9	6.6
	性・年代別	男性	15 ~ 19 歳	第1回 (n= 6)	66.7	66.7	50.0	0.0
				第2回 (n= 4)	25.0	50.0	25.0	0.0
			20 歳 代	第1回 (n= 6)	16.7	66.7	16.7	0.0
				第2回 (n= 14)	64.3	57.1	14.3	7.1
			30 歳 代	第1回 (n= 12)	58.3	75.0	8.3	0.0
				第2回 (n= 6)	66.7	83.3	0.0	0.0
		40 歳 代	第1回 (n= 7)	28.6	100.0	0.0	0.0	
			第2回 (n= 16)	68.8	62.5	6.3	0.0	
		50 歳 代	第1回 (n= 14)	35.7	100.0	0.0	7.1	
			第2回 (n= 15)	60.0	66.7	13.3	0.0	
		60 歳 台	第1回 (n= 18)	33.3	94.4	0.0	0.0	
			第2回 (n= 17)	29.4	100.0	0.0	0.0	
	女性	15 ~ 19 歳	第1回 (n= 11)	63.6	54.5	9.1	9.1	
			第2回 (n= 11)	72.7	63.6	9.1	9.1	
		20 歳 代	第1回 (n= 30)	73.3	66.7	6.7	10.0	
			第2回 (n= 24)	50.0	58.3	16.7	8.3	
		30 歳 代	第1回 (n= 29)	65.5	82.8	3.4	10.3	
			第2回 (n= 24)	37.5	79.2	12.5	8.3	
40 歳 代	第1回 (n= 31)	45.2	87.1	3.2	3.2			
	第2回 (n= 28)	42.9	92.9	7.1	3.6			
50 歳 代	第1回 (n= 45)	24.4	93.3	8.9	0.0			
	第2回 (n= 30)	10.0	90.0	3.3	13.3			
60 歳 台	第1回 (n= 41)	29.3	95.1	7.3	2.4			
	第2回 (n= 35)	45.7	97.1	2.9	0.0			

地域限定調査では、第2回では「病気等、健康上の理由から」が、さいたま市では82.7%、世田谷区82.1%、高槻市83.6%、福岡市88.7%となっており、最も多くなっている(図表2-1-4-)。

図表2-1-4- 「食事バランスガイド」を参考している理由
(全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回(複数回答))
《「食事バランスガイド」を知っていて、参考している人》



			体型が気になるから	病気等、健康上の理由	なんとなく	その他
全国調査	全 体	第1回 (n=250)	44.0	85.2	6.8	4.0
		第2回 (n=224)	44.2	79.9	8.0	4.9
地域限定調査	さいたま市	第1回 (n= 42)	42.9	76.2	16.7	7.1
		第2回 (n= 52)	46.2	82.7	3.8	3.8
	世田谷区	第1回 (n= 53)	41.5	84.9	7.5	1.9
		第2回 (n= 56)	32.1	82.1	12.5	3.6
	高槻市	第1回 (n= 39)	41.0	82.1	15.4	0.0
		第2回 (n= 55)	30.9	83.6	5.5	9.1
	福岡市	第1回 (n= 43)	41.9	86.0	4.7	2.3
		第2回 (n= 62)	37.1	88.7	6.5	1.6

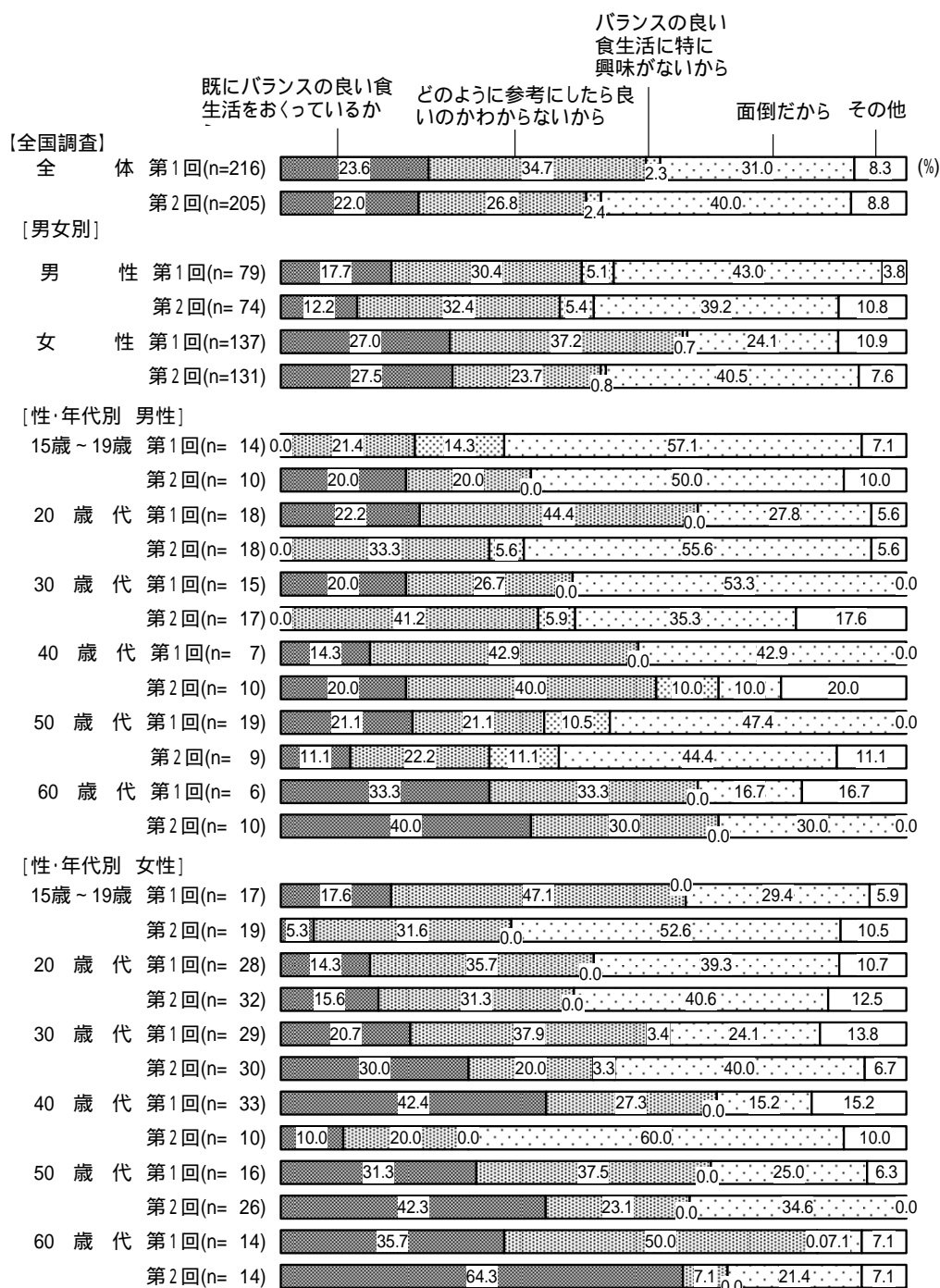
食事バランスガイドを参考にしていない理由

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」人で、「あまり参考にしていない」、「まったく参考にしていない」と回答した人に、「食事バランスガイド」を参考にしていない理由を聞いた。全国調査の全体結果では、第1回では「どのように参考にしたら良いのかわからないから(34.7%)」が最も多くなっているが、第2回では「面倒だから(40.0%)」が最も多くなっている(図表2-1-5-)。

図表2-1-5- 「食事バランスガイド」を参考にしていない理由

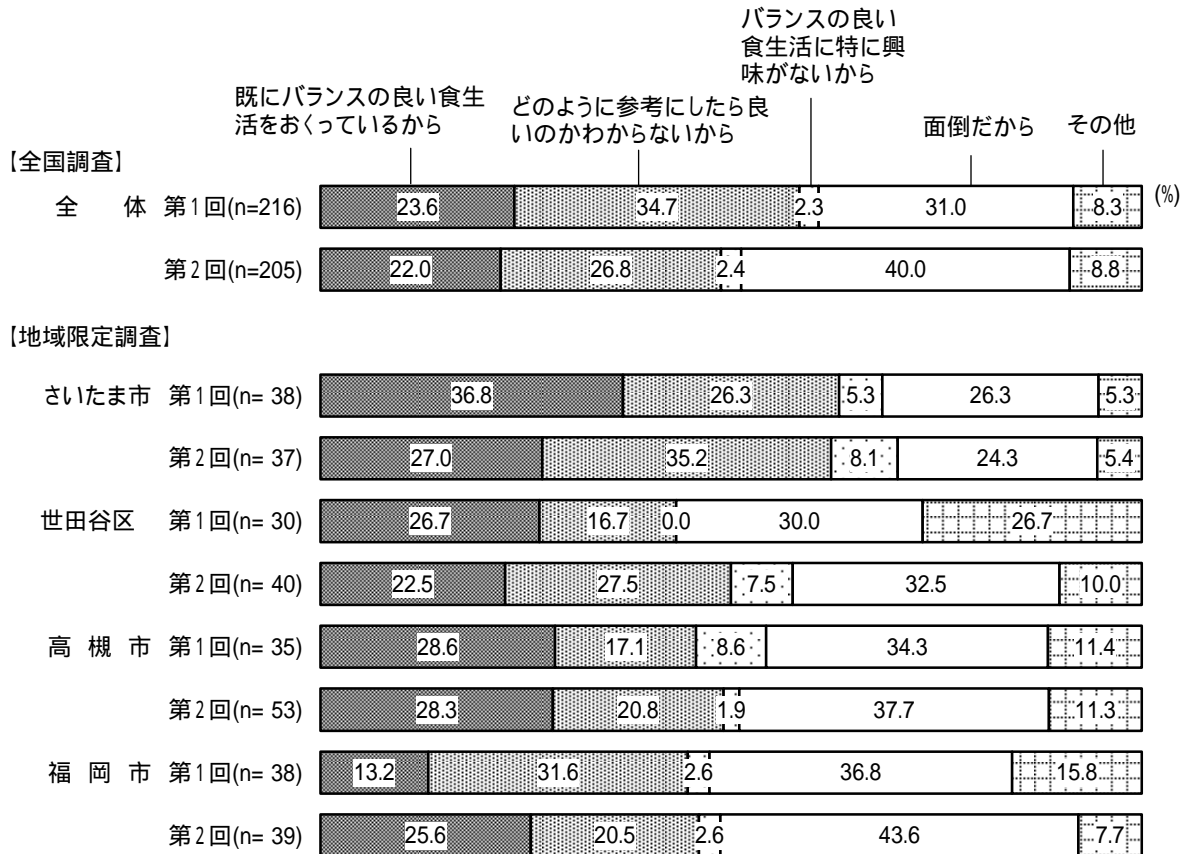
(全国調査/全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回)

《「食事バランスガイド」を知っていて、参考にしていない人》



地域限定調査では、さいたま市では、第1回は「既にバランスの良い食生活をおくっているから(36.8%)」が最も多くなっていたが、第2回では「どのように参考にしたら良いかわからないから(35.2%)」が最も多くなっている。世田谷区、高槻市、福岡市では、第1回、第2回ともに「面倒だから」が最も多くなっている(図表2-1-5-)。

図表2-1-5- 「食事バランスガイド」を参考にしていない理由
 (全国調査/全体、地域限定調査:第1回、第2回)
 《「食事バランスガイド」を知っていて、参考にしていない人》

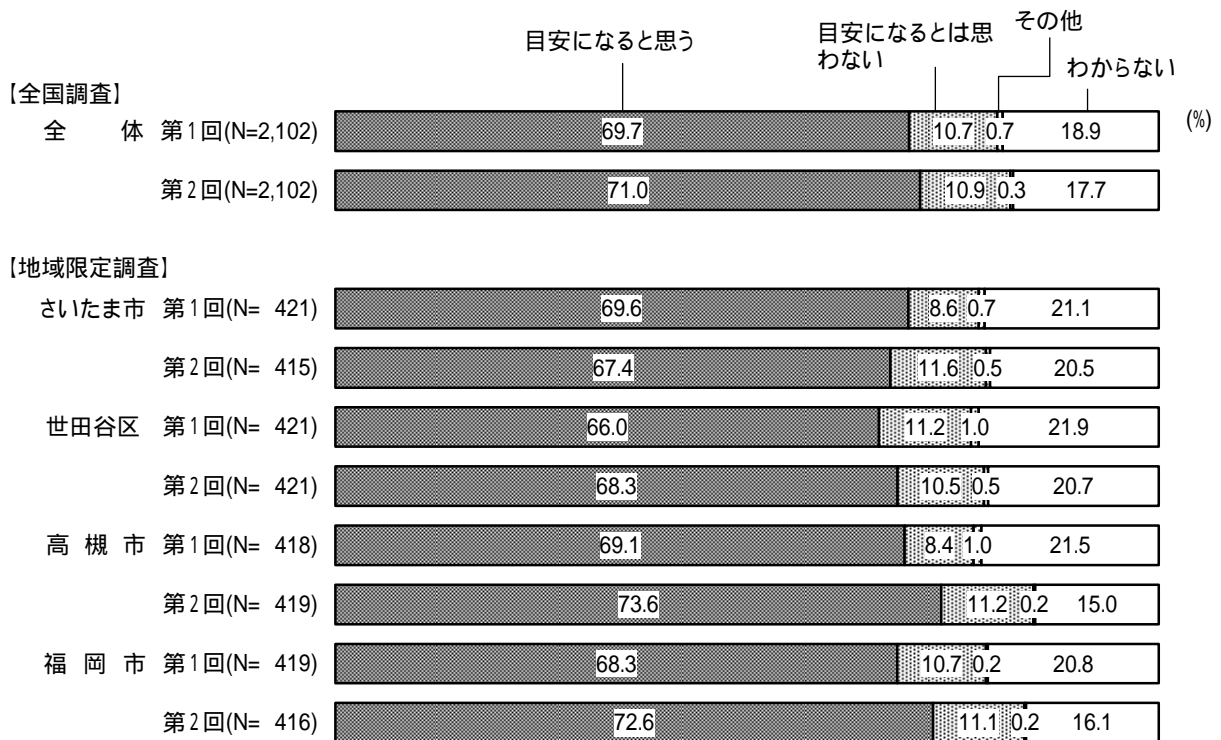


(2) 食事バランスガイドの評価

「食事バランスガイド」の評価は、第2回の全国調査の全体結果では「目安になると思う」が71.0%、「わからない」が17.7%、「目安になるとは思わない」は10.9%となっている。

地域限定調査では、「目安になると思う」が、さいたま市では67.4%、世田谷区では68.3%、高槻市では73.6%、福岡市では72.6%である(図表2-2-1)。

図表2-2-1 食事バランスガイドの評価
(全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回)

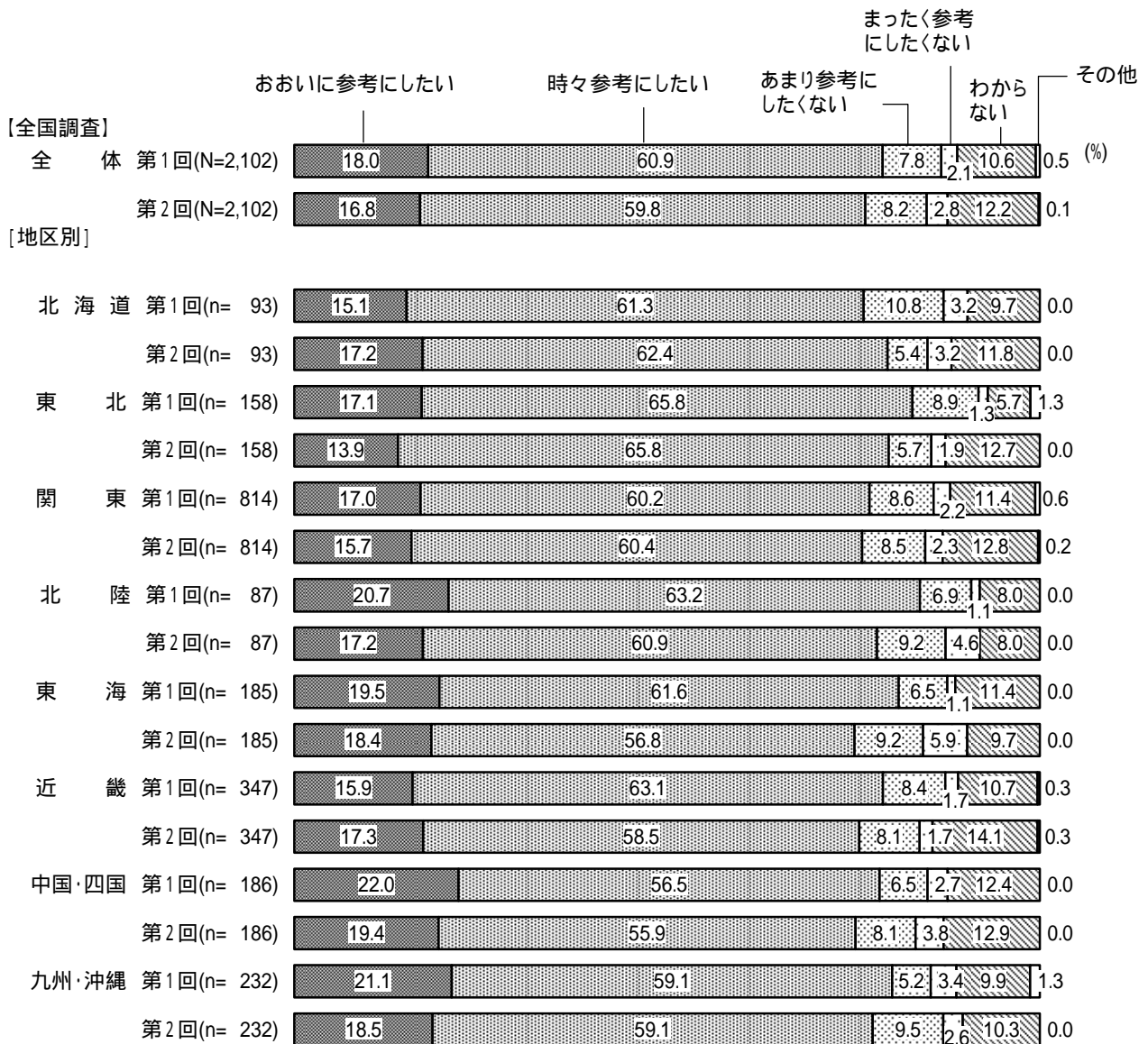


(3) 食事バランスガイドの参考意向

食事バランスガイドの参考意向

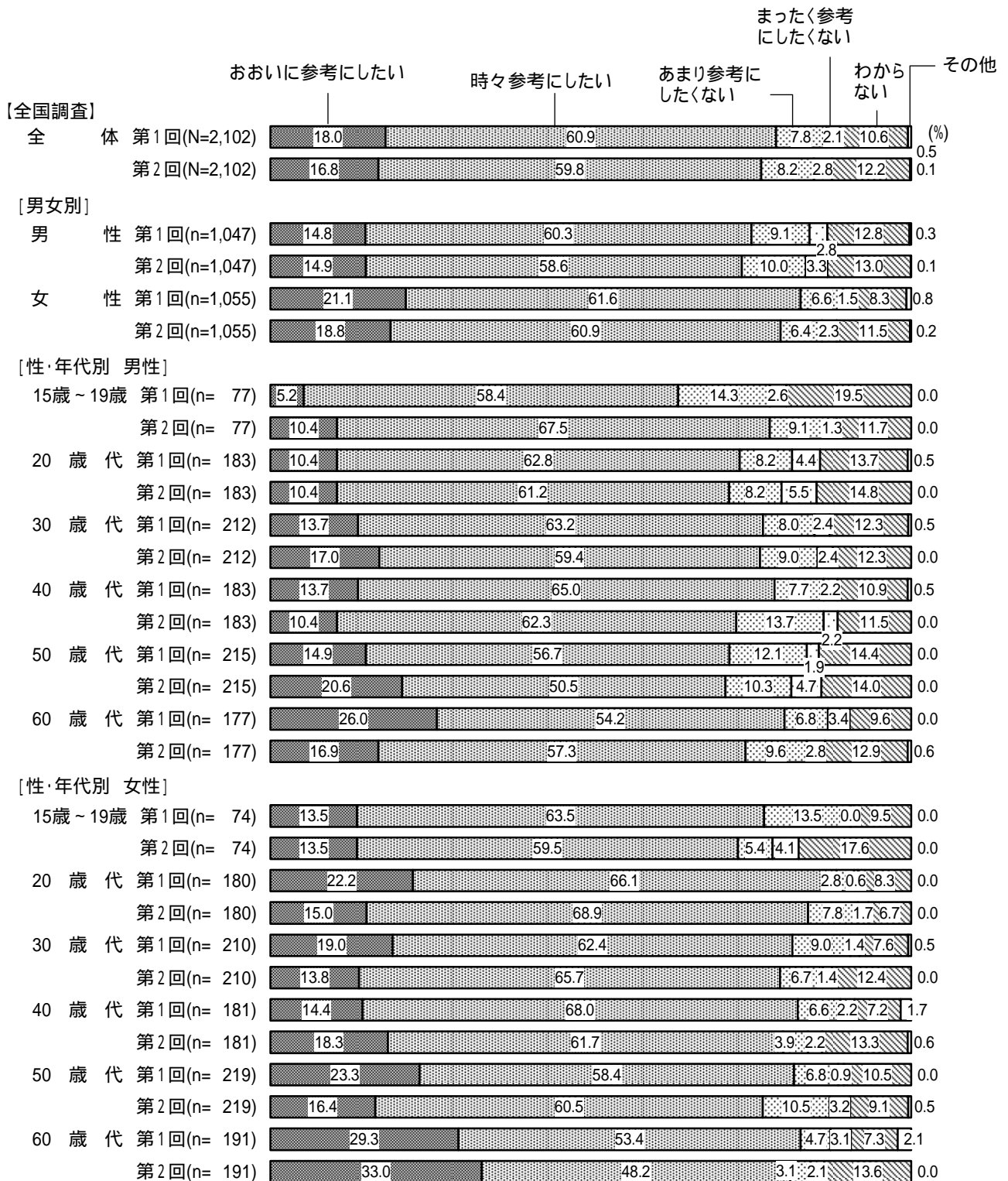
「食事バランスガイド」の参考意向は、第2回の全国調査の全体結果では「おいちに参考にしたい」が16.8%、「時々参考にしたい」が59.8%となっており、合計した《参考にしたい》は76.6%となっている（図表2-3-1- ）。

図表2-3-1- 「食事バランスガイド」の参考意向
（全国調査/全体・地区別：第1回、第2回）



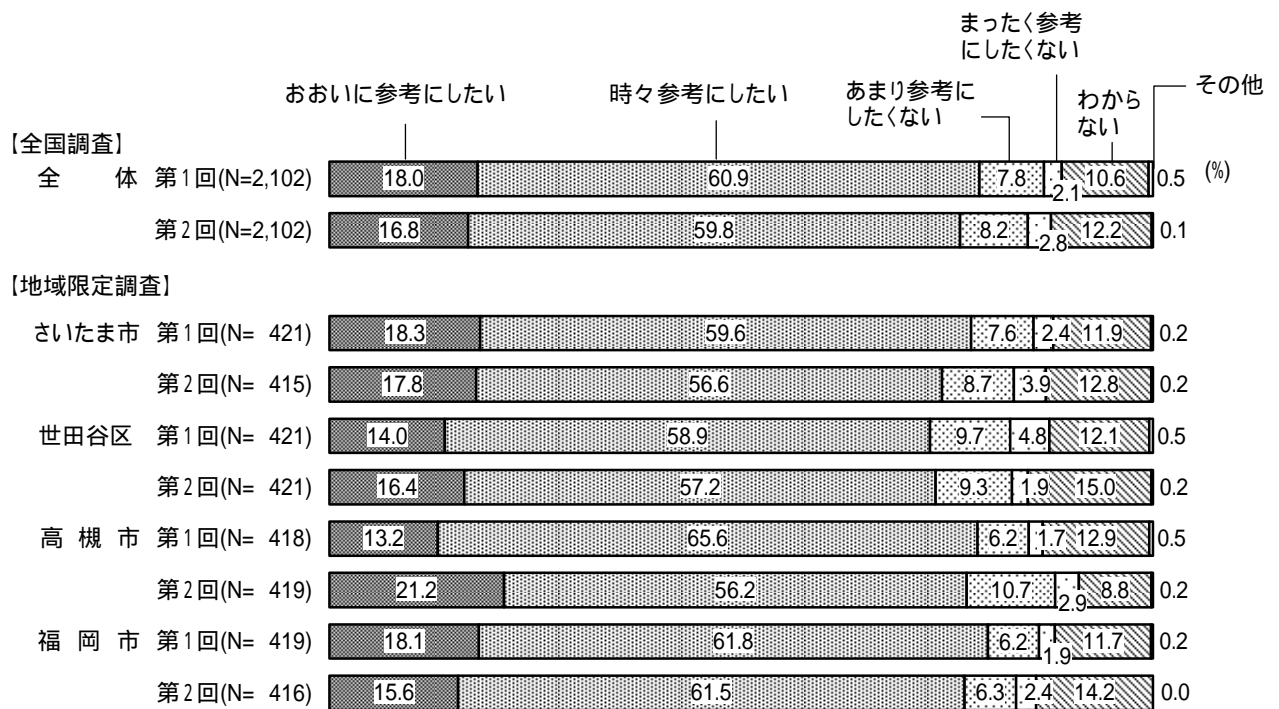
全国調査を男女別にみると、第2回では「おいに参考にしたい」が、男性では14.9%、女性では18.8%であり、「時々参考にしたい」を合計した《参考にしたい》が、男性では73.5%、女性では79.7%となっている（図表2-3-1-1）。

図表2-3-1-1 「食事バランスガイド」の参考意向
（全国調査/全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回）



地域限定調査では、第1回から第2回にかけて、高槻市は「おおいに参考にしたい」が7.0ポイント高くなっている。また、第2回では《参考にしたい》が、さいたま市では74.4%、世田谷区では73.6%、高槻市では77.4%、福岡市では77.1%となっている（図表2-3-1-1）。

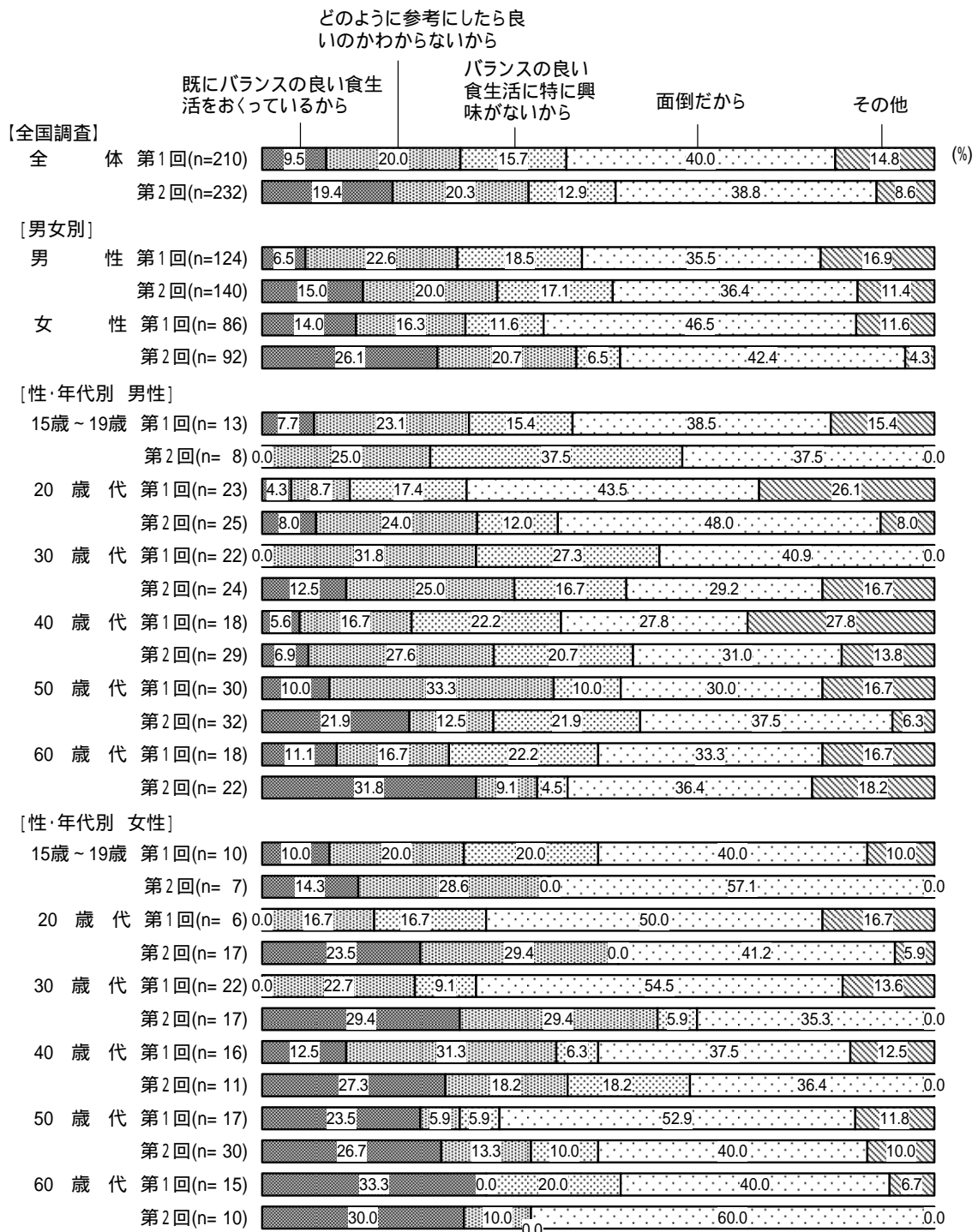
図表2-3-1-1 「食事バランスガイド」の参考意向
（全国調査/全体、地域限定調査：第1回、第2回）



食事バランスガイドを参考にしたくない理由

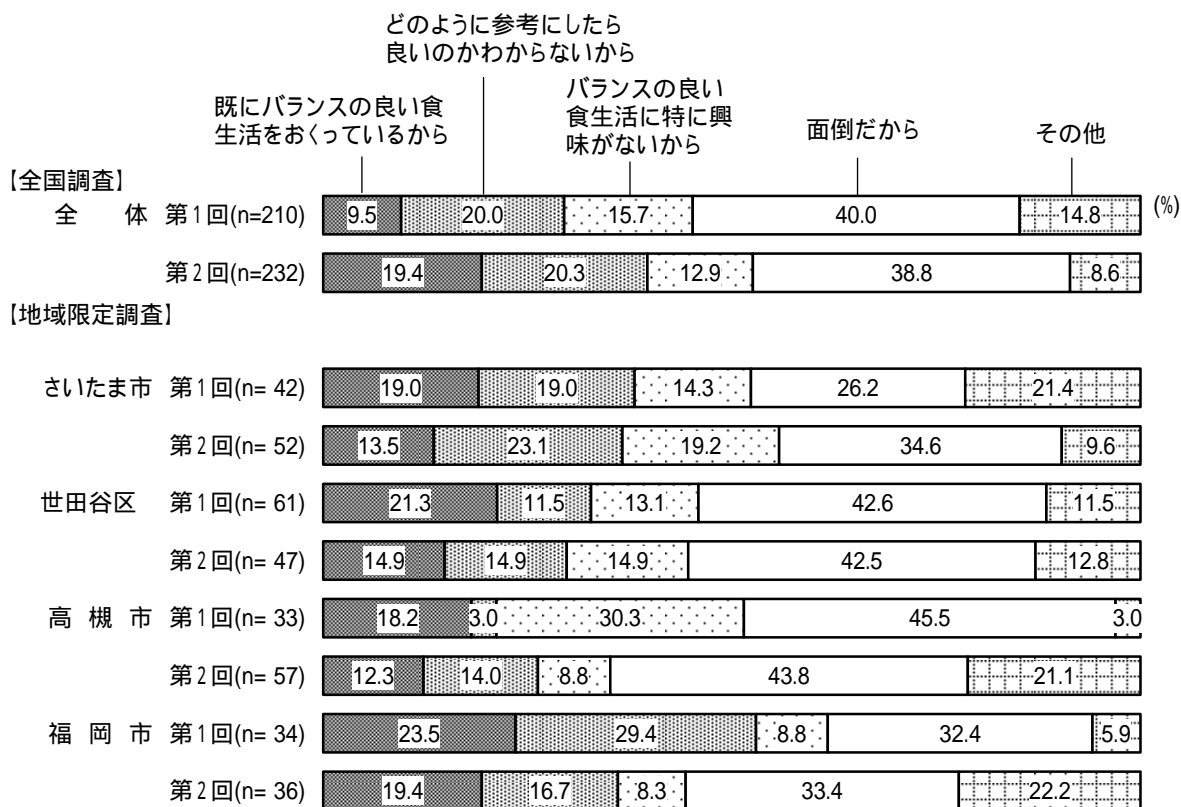
「食事バランスガイド」を「あまり参考にしたくない」、「まったく参考にしたくない」と回答した人に、「食事バランスガイド」を参考にしたくない理由を聞いた。全国調査の全体結果では、第1回、第2回ともに「面倒だから」が4割程度で最も多くなっている。また、第1回から第2回にかけて「既にバランスのよい食生活をおくっているから」が9.9ポイント高くなっている（図表2-3-2- ）。

図表2-3-2- 「食事バランスガイド」を参考にしたくない理由
（全国調査 / 全体・男女別・性・年代別：第1回、第2回）



地域限定調査では、最も多い回答は、第1回、第2回ともに、どの地区でも「面倒だから」が最も多くなっている（図表2-3-2- ）。

図表2-3-2- 「食事バランスガイド」を参考にしたくない理由
（全国調査 / 全体、地域限定調査：第1回、第2回）

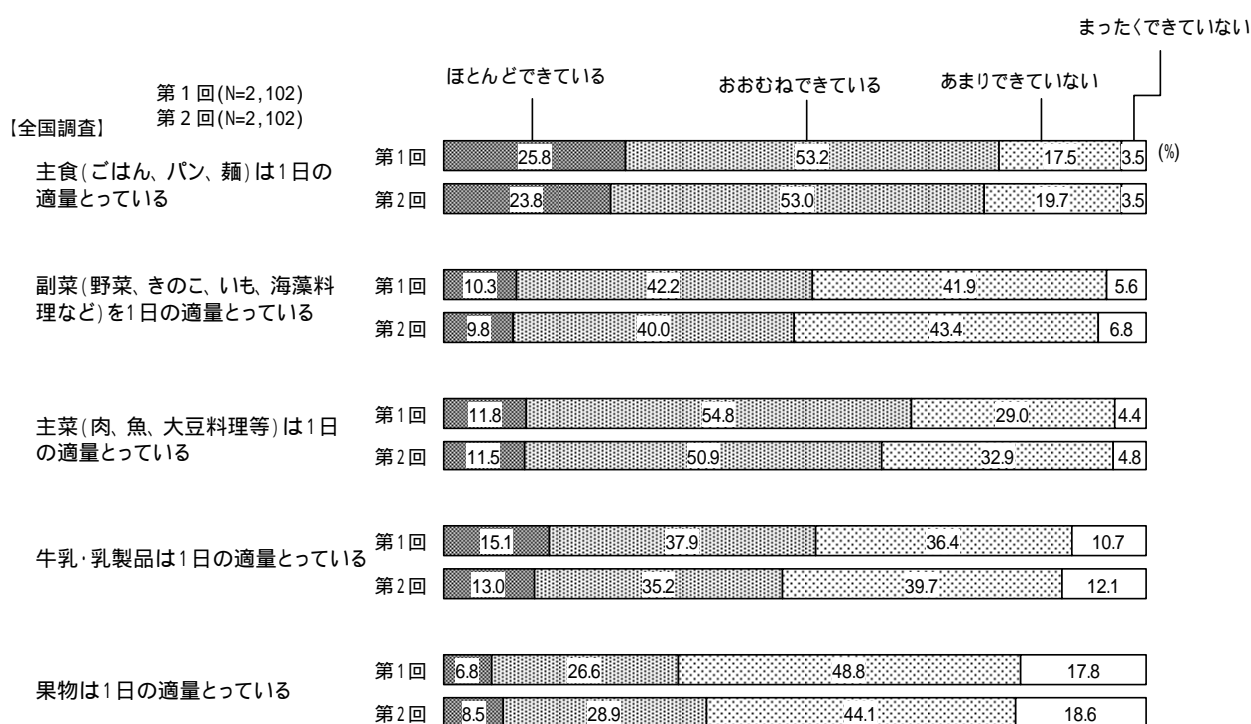


(4) 食事バランスガイドの実践度

「食事バランスガイド」の実践度は、全国調査の全体結果では、『主食は1日の適量とっている』は「ほとんどできている」が23.8%であり、「おおむねできている(53.0%)」と合計した《できている》は76.8%である。他の項目の《できている》の割合は、『副菜は1日の適量とっている』は49.8%、『主菜は1日の適量とっている』は62.4%、『牛乳・乳製品は1日の適量とっている』は48.2%、『果物は1日の適量とっている』は37.4%である(図表2-4-1-)。

図表2-4-1- 食事バランスガイドの実践度

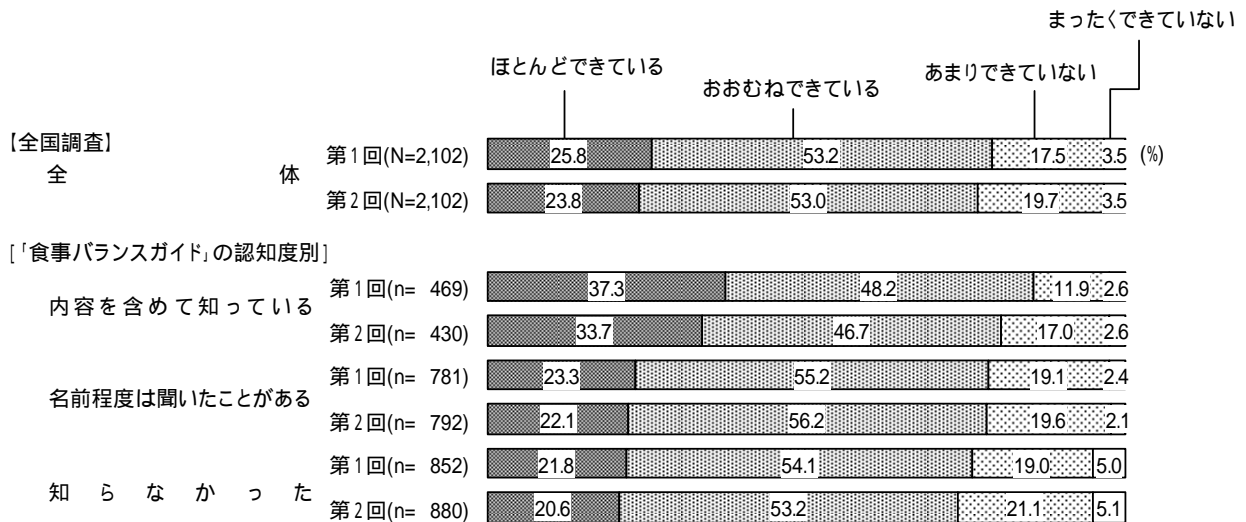
(全国調査/全体:第1回、第2回)



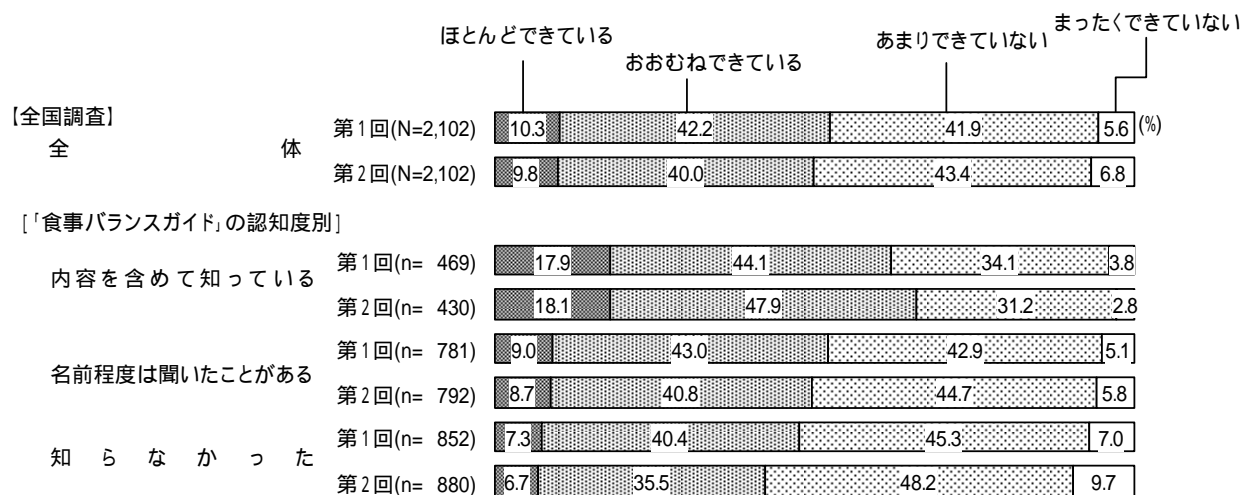
全国調査を「食事バランスガイド」の認知度別にみると、第1回、第2回ともに、内容を含めて知っている人は、すべての項目で「ほとんどできている」が全体結果に比べて高くなっている（図表2-4-1-1）。

図表2-4-1-1 食事バランスガイドの実践度
（全国調査 / 全体・食事バランスガイドの認知度別：第1回、第2回）

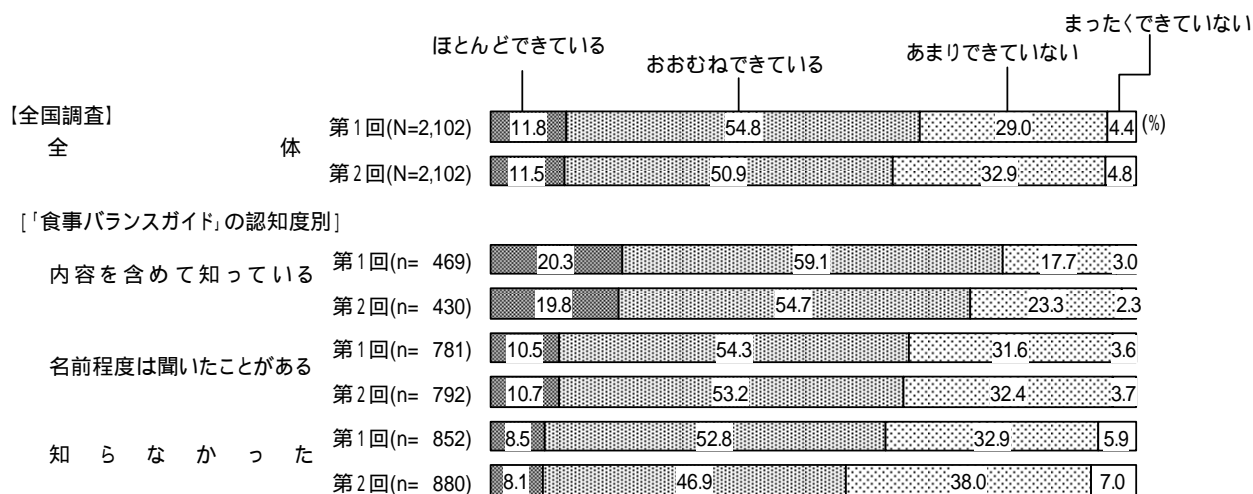
主食（ごはん、パン、麺）は1日の適量とっている



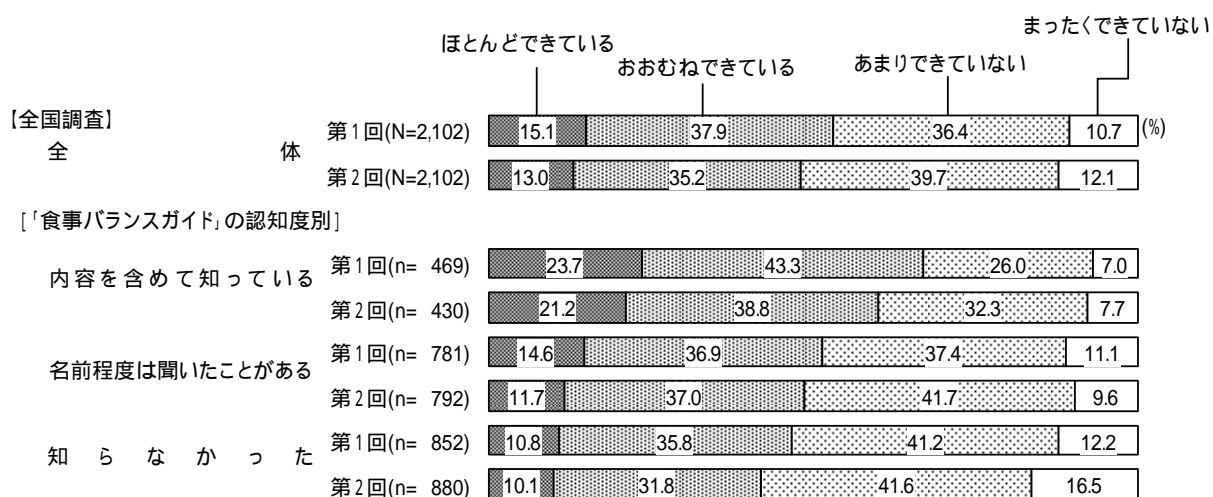
副菜（野菜、きのこ、いも、海藻料理など）は1日の適量とっている



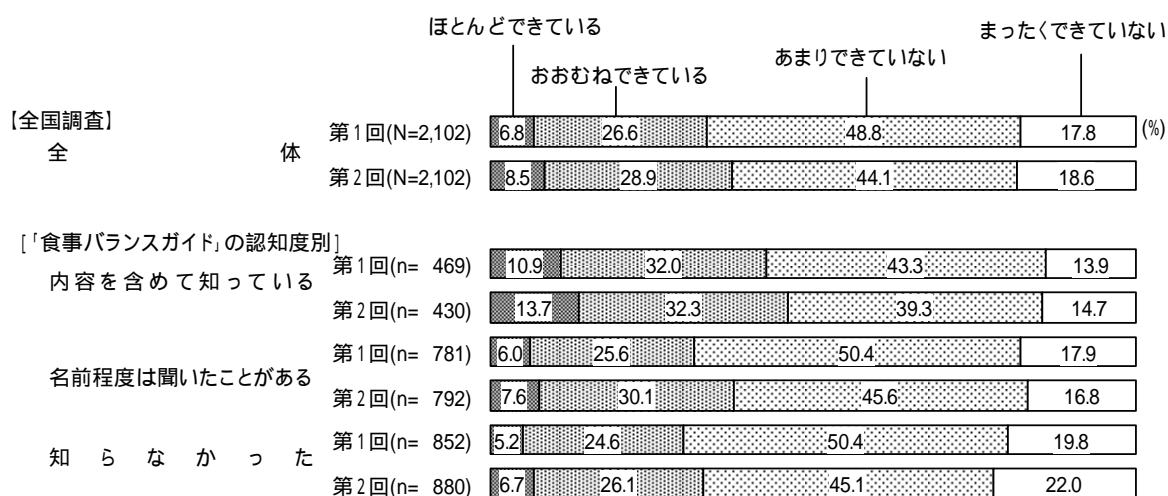
主菜（肉、魚、大豆料理など）は1日の適量とっている



牛乳・乳製品は1日の適量とっている



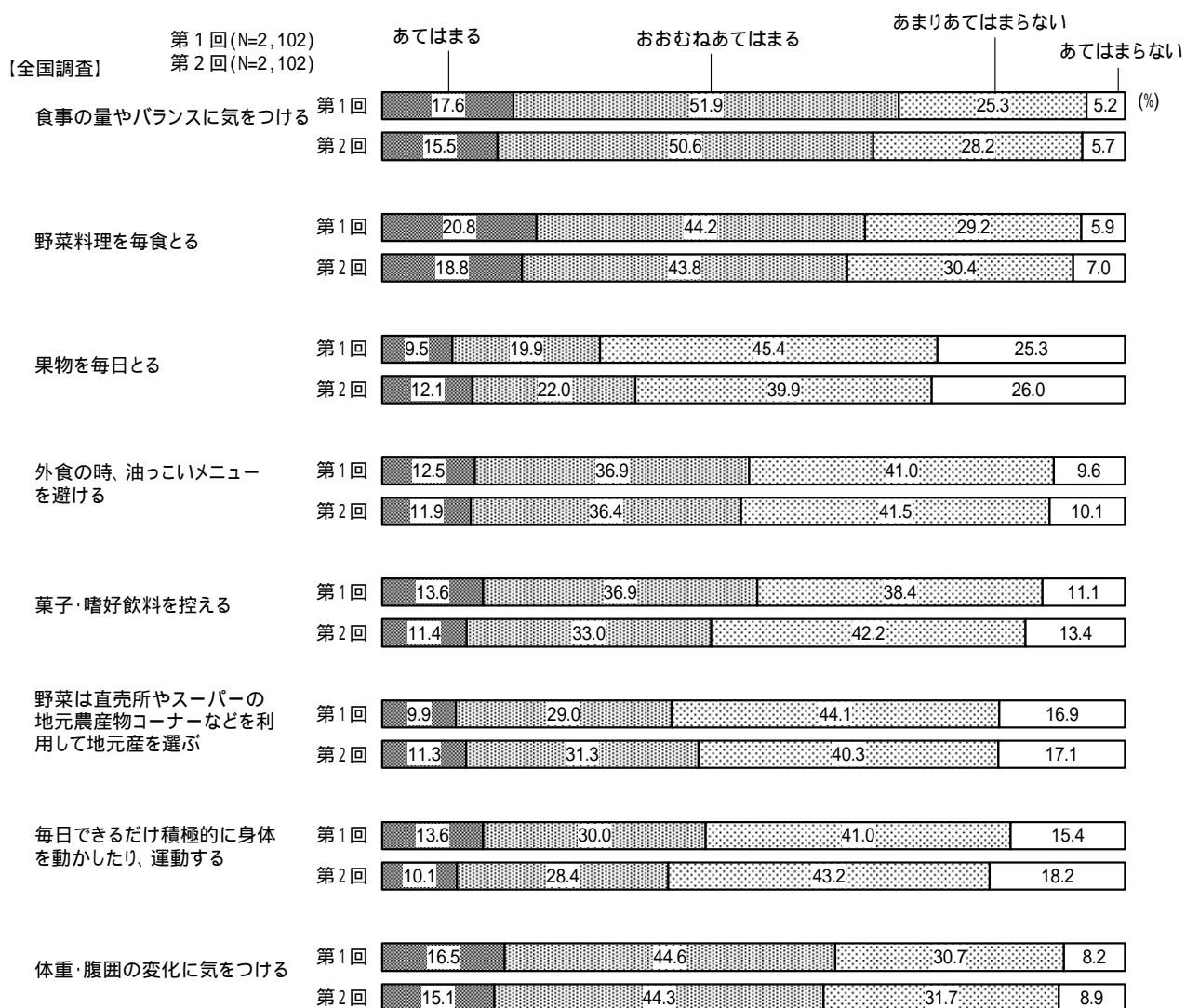
果物は1日の適量とっている



(5) 日頃の生活の中で心がけていること

日頃の生活の中で心がけていることは、第2回の全国調査の全体結果では、『食事の量やバランスに気をつける』は、「あてはまる(15.5%)」と「おおむねあてはまる(50.6%)」を合計した《あてはまる》が66.1%である。他の項目の《あてはまる》の割合は、『野菜料理を毎日とる』は62.6%、『体重・腹囲の変化に気をつける』は59.4%、『果物を毎日とる』は34.1%である(図表2-5-1-)。

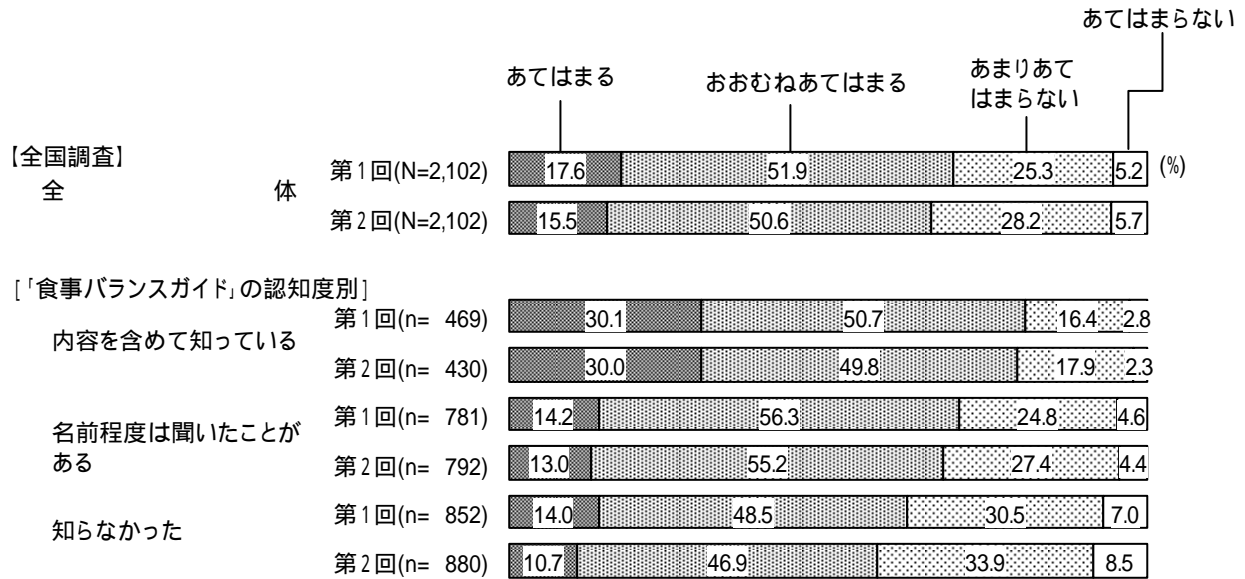
図表2-5-1- 日頃の生活の中で心がけていること
(全国調査/全体:第1回、第2回)



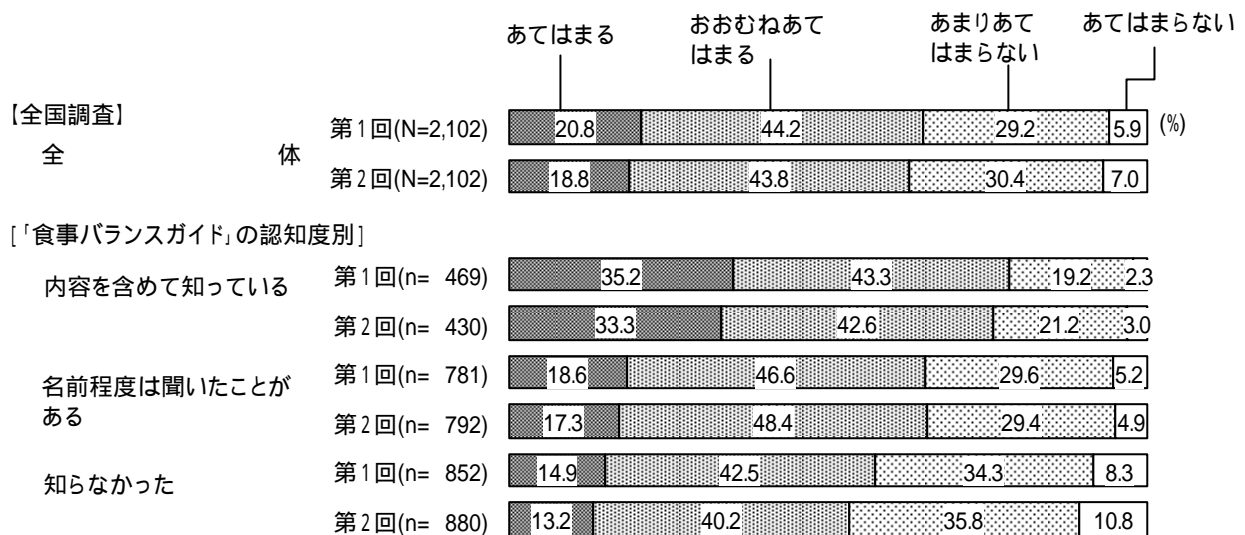
全国調査を「食事バランスガイド」の認知度別にみると、第1回、第2回ともに、内容を含めて知っている人は、すべての項目で「あてはまる」が全体結果に比べて高くなっている（図表2-5-1-1）。

図表2-5-1-1 日頃の生活の中で心がけていること
（全国調査／全体・食事バランスガイドの認知度別：第1回、第2回）

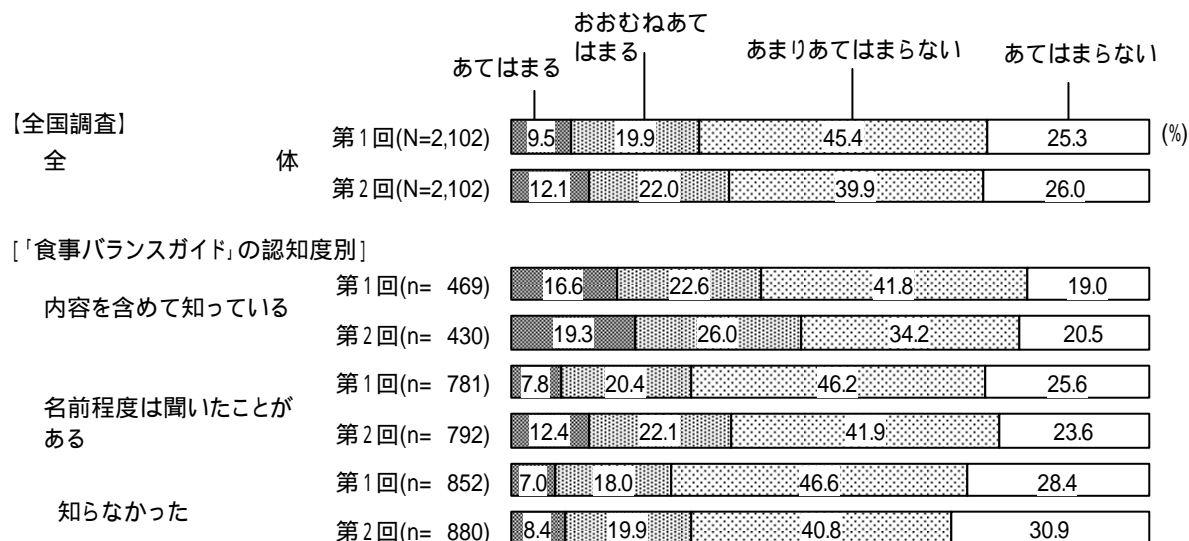
食事の量やバランスに気をつける



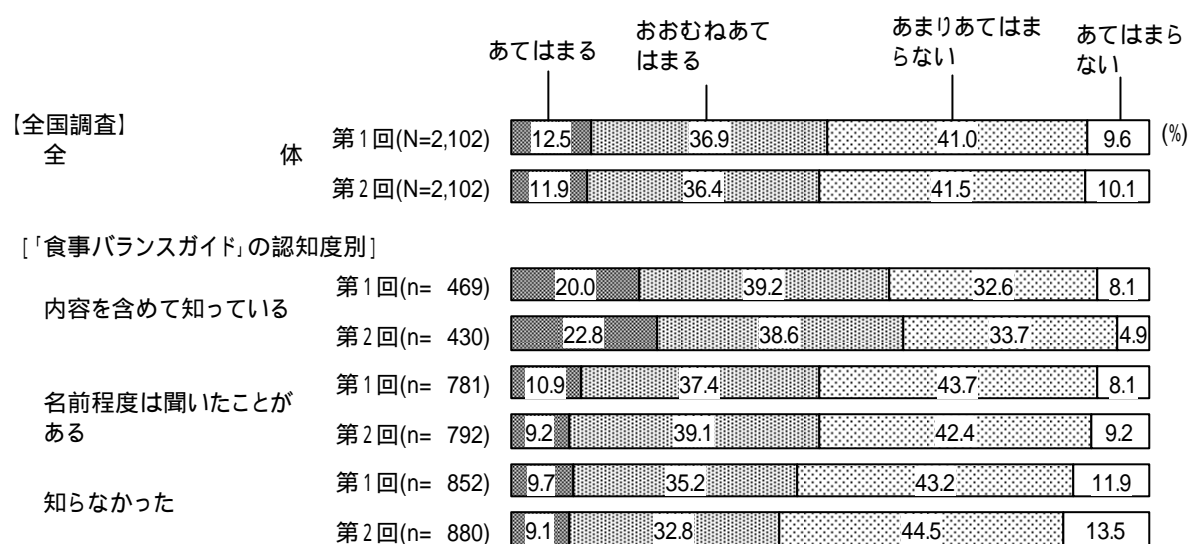
野菜料理を毎食とる



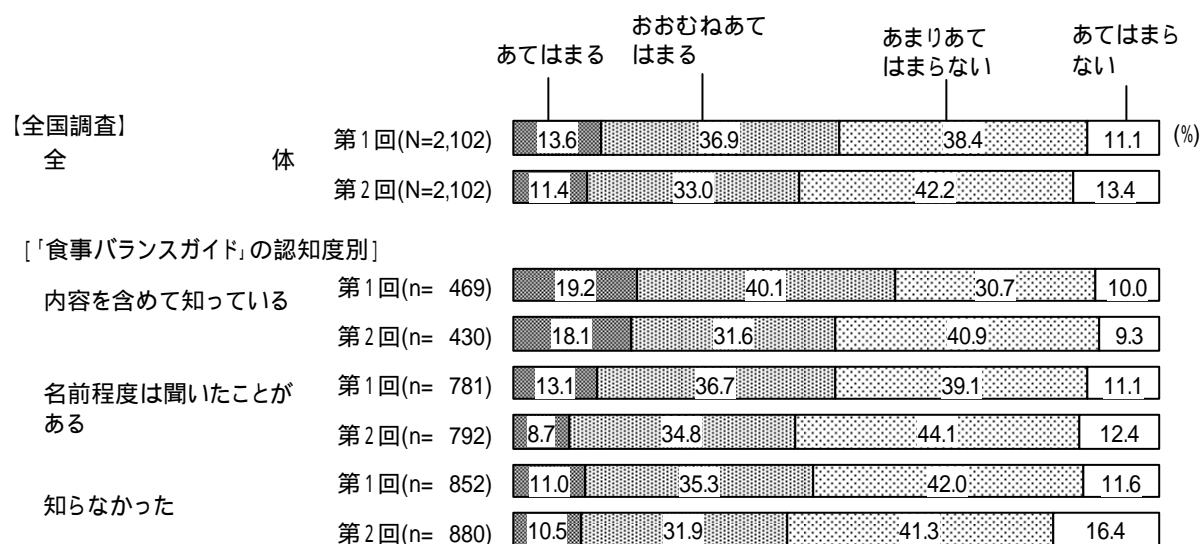
果物を毎日とる



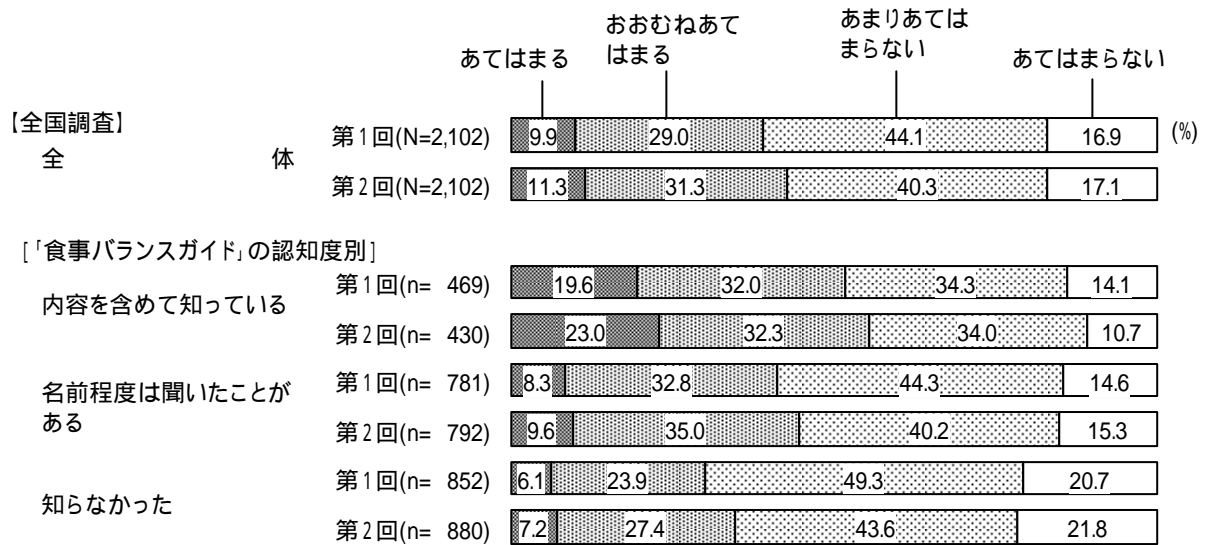
外食の時、油っこいメニューを避ける



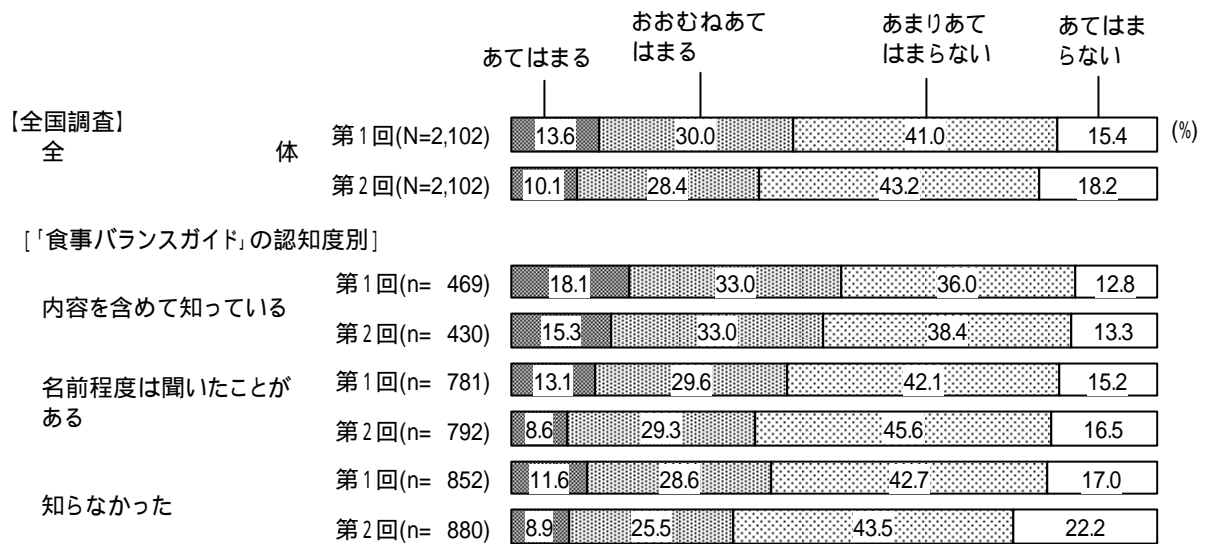
菓子・嗜好飲料を控える



野菜は直売所やスーパーの地元農産物コーナーなどを利用して地元産を選ぶ



毎日身体を動かす



腹囲の変化に気をつける

